

令和 8 年度

館林地区消防組合



消防年報

はじめに

当消防組合は、昭和44年国の重点施策に基づく広域市町村整備計画に沿い施設の整備強化を図り、火災及び地震等の災害から地域住民を保護し、社会公共の福祉の向上を積極的に推進しようという機運が高まり、館林市、板倉町、明和村（現明和町）、千代田村（現千代田町）、邑楽町の1市2町2村での消防業務を処理するための組合を、既設の館林市消防本部・消防署を中核として昭和45年4月1日に発足しました。

この消防年報は、令和7年中の消防業務について収録編さんし、今後の消防行政の参考にするとともに、館林地区消防組合の消防現況を広くご理解いただくために作成しました。

令和8年9月

館林地区消防組合消防本部

目 次

一 般 概 要

・ 消防の沿革	1	・ 消防庁舎の概要	8
・ 位置と地勢・構成市町の状況	6	・ 消防勢力	9
・ 管内図・消防庁舎所在地	7		

総 務 課

・ 消防組合組織図	10	・ 消防職員の現況	19
・ 消防本部事務分掌	11	・ 消防吏員等現員調	19
・ 消防本部の機構	14	・ 消防吏員勤続年数調	20
・ 消防署及び分署事務分掌	15	・ 消防吏員年齢調	21
・ 消防組合予算及び決算	16	・ 消防職員の研修状況	22
・ 組合予算歳入事項別明細	16	・ 消防相互応援協定の状況	23
・ 組合予算歳出事項別明細	16		
・ 構成市町別消防費内訳	17		
・ 年度別歳入歳出決算額	18		

予 防 課

・ 令和7年中の火災発生状況	24	・ 月別建築同意件数	36
・ 市町・原因別火災発生状況	25	・ 用途別5階以上建物一覧	37
・ 市町別火災種別及び損害額	26	・ 月別各種届出受理件数	38
・ 覚知別火災件数	26	・ 署別・月別立入検査実施状況	38
・ 月別火災発生状況	27	・ 各種団体	39
・ 曜日別火災発生状況	27		
・ 気象別火災件数	28		
・ 危険物製造所等の管内設置状況	29		
・ 危険物製造所等の事務処理状況	29		
・ 危険物製造所等の数量別調査表	30		
・ 危険物製造所等の類別調査表	30		
・ 数量別タンク検査状況	31		
・ 消防用設備等の点検報告等実施状況	32		
・ 消防用設備等設置状況	33		
・ 防火管理者選任状況等調	35		

警 防 課

・消防車両配置一覧表	40
・救助	42
・救助隊	42
・特別救助隊	42
・救助隊資機材一覧	43
・令和7年中の救助出場状況	44
(事故種別統計・管内別統計)	

指令救急課

・高機能消防指令システム	45	・気象関係	52
・高機能消防指令システムの主な機能	45	・月別天候状況調	52
・自動出動指定装置	45	・風速・温度・湿度・降水量月別平均調	52
・地図等検索装置	45	・気象情報受理件数	52
・遠隔制御装置	45	・救急	53
・車両運用端末装置	45	・救急救命士	53
・順次指令装置	45	・普通救命講習等指導結果集計表	53
・災害状況自動案内装置	45	・令和7年中の救急出場状況	54
・多言語通話機能	45	・事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	55
・Live119映像通報システム	45	・救急出場（搬送人員）推移	56
・119番等受付件数	46		
・緊急通報システム概要	46		
・館林地区消防組合デジタル無線局一覧	47		

消 防 音 楽 隊

・音楽隊編成表	57
---------	----

消 防 団

・消防団組織図	58	・消防団消防車両配置一覧表	63
・本部の名称及び位置	58	・消防団の勢力	65
・団員報酬等	58	・消防団員の出場状況	65
・消防団分団区域一覧	59		
・消防団員の現況	61		
・消防団員配置状況	61		
・消防団員階級別年齢調	62		

一般概要

消防の沿革

昭和25年12月	・館林町常備消防部発足 部員12名。
昭和29年 4月	・1町7ヵ村合併により館林市発足。
昭和30年 8月	・館林市大字館林818番地の4に庁舎落成、移転。(449.6㎡)
昭和32年 7月	・中短波無線局設置。
昭和33年 6月	・救急業務開始。
昭和35年 4月	・消防本部及び消防署設置 職員30名。
昭和37年12月	・千代田村機関常備発足 部員4名。
昭和38年 7月	・板倉町常備消防部発足 部員12名。
昭和41年 9月	・超短波無線局設置。
昭和43年 7月	・館林市隣接町村からの消防事務を委託。
昭和45年 4月	・1市2町2ヵ村による広域消防組合発足。(館林市、板倉町、明和村、千代田村 邑楽町)(消防組合発足昭和45年4月1日群馬県指令地第122号) ・4月1日現在、定員179名、実員60名、同年中20名採用、実員80名となる。
昭和45年 5月	・消防音楽隊発足。
昭和45年12月	・組合消防初代消防長に吉田健一郎が就任。
昭和46年 3月	・板倉分署新庁舎完成、移転。
昭和46年 4月	・邑楽水害予防組合が発展的に解消し邑楽館林水防事務組合が設立され、 その事務を消防本部で執行。 ・明和、千代田、邑楽分署庁舎完成、3分署発足。 ・職員17名採用、実員97名となる。
昭和47年 4月	・邑楽館林水防事務組合を解散し消防組合に包含。 水防管理団体指定(昭和47年4月1日群馬県指令河第108号) ・消防団を消防組合消防団に一本化し支団制を執行。 ・職員11名採用、実員108名となる。
昭和47年11月	・東北道縦貫自動車道開通に伴い火災、救急業務開始。
昭和48年 4月	・職員6名採用、実員114名となる。
昭和49年 3月	・館林市美園町7番3号に消防本部及び消防署新庁舎完成、同年5月移転。
昭和49年 4月	・条例定数を減少し定員139名、その他職員2名となる。職員14名採用、実員 128名となる。
昭和49年11月	・館林市大街道出張所完成。
昭和49年12月	・特別操法隊、レンジャー隊発足。
昭和50年 4月	・職員4名採用、実員132名となる。
昭和51年 6月	・救助艇隊発足、本署に救助艇を配備。
昭和53年 4月	・職員8名採用、実員137名となる。(内1名はその他の職員)
昭和54年 4月	・職員6名採用、実員140名となる。(内2名はその他の職員)
昭和54年 8月	・消防本部機構改革、警防課が新設され、3課1室8係となる。
昭和55年 4月	・職員2名採用、実員141名となる。
昭和55年 7月	・救助艇隊を発展的に解消し、レンジャー隊が救急を除く、水陸両事故に対処する ものとなる。
昭和56年 4月	・第2代消防長に金子喜久男が就任。
昭和57年 4月	・千代田村が町制を施行、千代田町となる。
昭和57年 7月	・通信指令室に2係を新設、3課1室9係となる。
昭和58年 4月	・消防本部及び消防機構改革、本部に本部次長・参事・課長・主幹・係長・主査 主任、署に司令以下(本部の主幹以下)の職制を採用、消防署の中隊を消防第 一係・第二係と改称、庶務係・予防係を新設、消防団事務を消防署で執行。
昭和58年10月	・35m級梯子付消防自動車を導入。
昭和59年 4月	・消防組合消防団の支団制を廃止し、消防団制を執行。
昭和61年 4月	・条例定数改正により消防吏員162名、その他職員2名となる。
昭和62年 4月	・職員6名採用、実員146名となる。
昭和63年 3月	・組合議会議員定数改正、各市町村の議員の任期満了によりそれぞれ1名減員し 将来11名構成になる。
昭和63年 4月	・職員6名採用、実員152名となる。
平成 元年 4月	・職員4名採用、実員156名となる。
平成 元年 5月	・北出張所庁舎完成(開所)。
平成 2年 3月	・化学消防自動車を導入。
平成 2年 4月	・職員5名採用、実員160名となる。
平成 3年 4月	・職員5名採用、実員162名となる。
平成 3年11月	・整備工場を細内町(北出張所隣接)に移設。

平成 4 年 4 月	・ 条例改正により定数 176 名、職員 4 名採用、実員 161 名となる。
平成 4 年 12 月	・ 救助工作車を導入。
平成 5 年 1 月	・ 救助工作車（Ⅱ型）を本署に配備する。
平成 5 年 3 月	・ 板倉分署 2 号車（水槽付 700ℓ）、明和分署 1 号車（水-Ⅱ型）、救急車を更新。
平成 5 年 4 月	・ 消防署に係制を敷き、庶務係・予防係・警防係・消防団係・救急係・救助係を設置する。 ・ 職員 8 名採用、実員 170 名となる。
平成 5 年 8 月	・ 群馬県総合防災訓練を館林市大島地先で実施。
平成 6 年 4 月	・ 職員 7 名採用、実員 175 名となる。
平成 6 年 5 月	・ 組合初の救急救命士誕生。
平成 6 年 7 月	・ マイクロバスを更新。
平成 6 年 9 月	・ 邑楽消防団第 1 分団第 2 班詰所新築。 ・ 千代田消防団第 1 分団第 1 班、第 2 分団第 3 班車両を更新（CD-Ⅰ）。 ・ 館林消防団第 5 分団第 2 班車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 6 年 11 月	・ 救急車（予備車）を更新（本署）、救助艇牽引車を更新（本署）。
平成 7 年 3 月	・ 指揮広報車を更新（本部）、北出張所 1 号車を更新（水-Ⅱ型）。
平成 7 年 4 月	・ 出張所長（日勤）、係長を常勤として配置。
平成 7 年 4 月	・ 職員 2 名採用、実員 175 名となる。
平成 7 年 6 月	・ 整備工場連絡車を更新。
平成 7 年 11 月	・ 千代田消防団第 1 分団第 2 班、第 1 分団第 4 班、第 2 分団第 2 班車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 7 年 12 月	・ 館林消防団第 10 分団第 1 班、邑楽消防団第 1 分団第 2 班、第 3 分団第 4 班車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 8 年 3 月	・ 庁舎増築（指令室、作戦指令室、会議室、機械室、救急隊員控室、救急資器材倉庫、救急用消毒室、車庫）。 ・ 高規格救急自動車を導入、本署に配備。 ・ 庁舎増築に伴い高圧ガス製造所を移設。
平成 8 年 4 月	・ 高規格救急自動車の運用開始。 ・ 出張所に所長以下 20 名の職員を配置、救急車を配備し運用開始。
平成 8 年 10 月	・ 明和消防団第 1 分団第 1 班車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 8 年 11 月	・ 邑楽消防団第 2 分団第 3 班車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 8 年 12 月	・ 館林消防団第 9 分団第 2 班車両を更新（CD-Ⅰ）。 ・ 館林消防団第 6 分団第 1 班詰所新築。
平成 9 年 2 月	・ 館林消防団専用消防無線機（携帯型 1W）18 基配備。
平成 9 年 3 月	・ 消防緊急指令施設（Ⅱ型）更新、OA 化に伴い各課、各署に OA 端末機を導入。 ・ ボートトレーラー（本署配備）、千代田分署配備の救助艇（8 人乗り）を更新。 ・ 北出張所車庫（40.5㎡）の増築、明和消防団第 2 分団第 2 班、邑楽消防団第 2 分団第 2 班詰所新築。
平成 9 年 4 月	・ 第 3 代消防長に金子政雄が就任。 ・ 消防緊急指令施設（Ⅱ型）運用を開始。 ・ 消防長車を更新。 ・ 本部・署の車両に AVM 装置（車両動態表示装置）を搭載。
平成 9 年 11 月	・ 明和消防団第 3 分団第 1 班車両を更新（CD-Ⅰ）。 ・ 明和消防団第 1 分団第 2 班詰所新築。 ・ 邑楽消防団第 2 分団第 2 班、第 3 分団第 2 班車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 9 年 12 月	・ 館林消防団第 2 分団、第 4 分団第 2 班車両を更新（CD-Ⅰ）。 ・ 館林消防団第 4 分団第 1 班詰所新築。
平成 10 年 3 月	・ 館林消防署電源照明車を更新。
平成 10 年 8 月	・ 明和消防団第 1 分団第 2 班、第 2 分団第 2 班、第 3 分団第 2 班車両（700ℓ の水槽付） 邑楽消防団第 1 分団第 3 班車両を更新（CD-Ⅰ）。 ・ 館林 2 号車（水-Ⅱ型）、板倉 1 号車（水-Ⅱ型）、邑楽 2 号車（水-Ⅰ型） を更新、邑楽 2 号車（中継用）には、水槽付（1500ℓ）、ホース 10 本 積載できる電動ホースカー（動力昇降装置）を新たに導入。
平成 10 年 10 月	・ 明和村が町制を施行、明和町となる。
平成 11 年 2 月	・ 館林消防団第 2 分団詰所新築。
平成 11 年 3 月	・ 邑楽分署に高規格救急自動車を配備。
平成 11 年 10 月	・ 館林消防団第 6 分団第 1 班、第 8 分団第 2 班車両を更新（CD-Ⅰ）。 ・ 板倉消防団第 5 分団車両を更新（CD-Ⅰ）。
平成 12 年 3 月	・ 板倉分署、千代田分署に高規格救急自動車を配備。 ・ 明和消防団第 1 分団第 1 班詰所新築。

平成12年10月	・本部警防1号車を更新。 ・条例定数の消防吏員181名、その他職員2名となる。 ・館林消防署救助艇及びボートトレーラーを更新。
平成12年12月	・館林3号車を更新（CD-I）。
平成13年 1月	・板倉分署水防車（軽）を更新。
平成13年 2月	・邑楽1号車を更新（水-II）。
平成13年 3月	・館林消防団第8分団第1班詰所新築。
平成13年 4月	・常備消防費負担割合 基準財政需要額60%及び人口割とする。
平成13年10月	・明和分署に高規格救急自動車を配備。
平成14年 4月	・西分署新庁舎完成。（大街道出張所の廃止） ・北出張所を改め、北分署となる。 ・職員6名採用、実員183名となる。
平成14年 5月	・西分署に高規格救急自動車を配備。 ・西分署に3号車（連絡車）を配備。
平成14年 9月	・北分署3号車（連絡車）を配備。
平成14年10月	・邑楽消防団第3分団第5班車両を更新（CD-1）。
平成14年12月	・館林消防団第4分団第1班車両を更新（CD-1）。
平成15年 2月	・北分署に水防車（軽）を配備、千代田分署水防車（軽）を更新。
平成15年 3月	・北分署に高規格救急自動車を配備。
平成15年 5月	・救急救命士1名誕生15名となる。
平成15年11月	・救急救命士1名誕生16名となる。 ・西分署に大型水槽車（10,000ℓ）を配備。
平成16年 3月	・館林消防署の救急館林3号車を高規格救急自動車に更新。
平成16年 4月	・第4代消防長に荒井栄一が就任。
平成16年 8月	・群馬県防災訓練を館林市大島町地内青少年広場にて実施。
平成17年 3月	・館林消防署の梯子車（35㍓級）を更新（30㍓級）。
平成17年12月	・館林消防署の救急館林1号車（高規格）を更新。
平成18年 3月	・救急館林1号車（高規格）を本部指揮統制車に改造。
平成19年 3月	・明和町南大島265番地1に明和分署新庁舎完成、移転。
平成19年 4月	・条例定数の消防吏員189名、その他職員2名となる。 ・職員8名採用、実員185名となる。
平成20年 4月	・職員10名採用、実員188名となる。 ・第5代消防長に田中栄が就任。
平成20年 5月	・邑楽町大字中野2647番地1に邑楽分署新庁舎完成、移転。
平成20年11月	・館林消防団第9分団第1班詰所新築。
平成20年12月	・館林1号車を更新。
平成21年 3月	・邑楽分署高規格救急自動車、館林消防団第1分団車を更新。 ・板倉町大字板倉3427番地の5に板倉分署新庁舎完成、移転。
平成21年 4月	・職員9名採用、実員191となる。 ・救急救命士1名誕生、27名となる。
平成22年 1月	・館林消防団第8分団第2班に救助資機材搭載型消防車両が貸与される。
平成22年 2月	・館林消防団第4分団第2班詰所新築。 ・災害用フォークリフトを購入。
平成22年 3月	・千代田町大字萱野1218番地の1に千代田分署新庁舎完成、移転。 ・救急板倉1号車及び救急千代田1号車を更新。
平成22年 4月	・板倉分署、明和分署、千代田分署、邑楽分署を消防署に組織改編。
平成22年 5月	・第59回利根川水系連合水防演習を板倉町大高嶋地先で実施。
平成22年 7月	・館林梯子2号車（15m級）を北分署から板倉消防署に配置換え。
平成22年11月	・千代田1号車を更新。
平成23年 1月	・救急明和1号車を更新。
平成23年 2月	・館林救助2号車を更新。 ・館林地区消防組合消防団に司令車が寄贈される。
平成23年 3月	・水防1号車を更新。
平成23年 4月	・第6代消防長に小林博が就任。
平成23年 5月	・邑楽消防署に館林救助3号車（救助工作車Ⅱ型）を配備。 ・救急救命士1名誕生、33名となる。
平成23年12月	・救急館林西1号車を更新。
平成24年 3月	・明和1号車を更新。 ・板倉2号車を更新。
平成25年 1月	・館林北1号車を更新。
平成25年 3月	・重機（3t級）、重機搬送車が総務省消防庁より貸与される。
平成25年 4月	・消防救急デジタル無線を導入。

平成25年	6月	・救急救命士1名誕生、38名となる。
平成25年	7月	・特別救助隊、指揮隊を発足。
平成26年	1月	・救急館林北1号車を更新。
平成26年	4月	・第7代消防長に小山雅則が就任。 ・条例定数改正により、消防吏員191名となる。
平成26年	12月	・火災原因調査車を更新。
平成27年	1月	・救急館林2号車を更新。
平成27年	2月	・館林水防車（軽）を更新。 ・館林署指揮隊車を購入。
平成27年	3月	・邑楽2号車を更新。 ・通信指令装置（指令系）を更新。
平成27年	11月	・救急館林1号車を更新。
平成28年	2月	・警防車（本部2）を購入。 ・明和消防団第3分団第2班詰所新築。 ・館林化学1号車を更新。
平成28年	3月	・館林消防団第10分団第1班詰所新築。 ・デジタル無線出動車両運用管理システム地図検索装置用ベクトル更新地図使用。 ・救急救命士、43名となる。
平成28年	4月	・第8代消防長に峰岸一弘が就任。
平成28年	9月	・群馬県総合防災訓練を館林市大島町地内青少年広場にて実施。
平成29年	3月	・板倉1号車を更新。 ・救急救命士、47名となる。
平成29年	4月	・危険物安全協会と防火対象物連絡協議会が合併し、館林地区防火安全協会となる。
平成29年	6月	・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎 設計業務委託。
平成29年	10月	・救急邑楽1号車を更新。
平成30年	4月	・第9代消防長に福地保幸が就任。 ・救急救命士、49名となる。
平成30年	8月	・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎 設計業務完成。
平成30年	10月	・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎 建設工事着工。
平成31年	3月	・邑楽1号車を更新。
平成31年	4月	・救急救命士、52名となる。
令和 2年	1月	・救急板倉1号車を更新。
令和 2年	3月	・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎完成。
令和 2年	4月	・館林地区消防組合発足50周年を迎える。 ・館林地区消防組合消防本部 館林消防署 新庁舎開署。 ・高機能消防指令センター 整備導入。 ・救急救命士、56名となる。 ・通信指令室を通信指令課へ組織改編。
令和 2年	6月	・高機能消防指令センターにNET119機能を整備導入。
令和 2年	10月	・千代田消防署救助艇更新、船舶積載用トレーラー配備。
令和 2年	12月	・救急千代田1号車を更新。
令和 3年	3月	・館林西1号車を更新。
令和 3年	4月	・救急救命士、58名となる。
令和 3年	12月	・救急明和1号車を更新。
令和 4年	3月	・北分署改修工事。 ・条例定数改正により、定数200名となる。
令和 4年	4月	・救急救命士、59名となる。
令和 4年	12月	・救急西1号車を更新。
令和 5年	3月	・資材搬送車を購入。
令和 5年	3月	・邑楽消防署庁舎女子エリア改修工事。
令和 5年	4月	・第10代消防長に小貫裕康が就任。 ・救急救命士、61名となる。
令和 5年	11月	・救急北1号車を更新。
令和 6年	4月	・職員4名採用、実員196名となる。 ・救急救命士、65名となる。
令和 6年	8月	・Live119緊急通報システム導入
令和 7年	3月	・西分署改修工事
令和 7年	4月	・第11代消防長に横村恭彦が就任。 ・職員4名採用、実員196名となる。 ・救急救命士、66名となる。

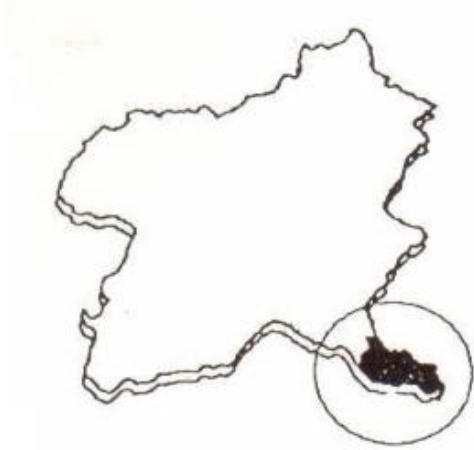
令和	8年	2月	・救急館林2号車を更新。
令和	8年	3月	・館林1号車を更新。
令和	8年	4月	・職員4名採用、実員198名となる。
			・救急救命士、64名となる。
			・通信指令課を指令救急課へ組織改編。

位置と地勢

当消防組合のある館林・邑楽地区は、「鶴舞う形の群馬県」のちょうど頭とクチバシのあたりで、関東平野のほぼ真ん中に位置し、北に栃木県佐野市・足利市・栃木市、東に茨城県古河市、南に埼玉県羽生市・行田市・加須市と3県に接し、西は太田市・大泉町に接しています。

地形は、すべて平地で利根川、渡良瀬川の大河をはじめ中小河川に渡良瀬遊水地、多々良沼、城沼、近藤沼などの池沼が点在し、水と緑が豊かな地域であります。

交通アクセスも、東北自動車により首都圏や東北方面等も非常に近く、東武鉄道伊勢崎線、日光線により浅草まで、1時間弱という近さで通勤通学にも非常に便利な地域で、近年、流通・製造などの企業や大規模商業施設が進出しています。



構成市町の状況

(1) 令和8年4月1日現在の面積・人口・世帯数(外国人含む)

区分 市町村名	面積 (km ²)	人口	男女別		世帯数
			男	女	
館 林 市	60.97	72,884	36,474	36,410	35,189
		(73,335)	(36,746)	(36,589)	(34,982)
板 倉 町	41.86	13,220	6,676	6,544	6,051
		(13,383)	(6,744)	(6,639)	(5,978)
明 和 町	19.64	10,588	5,335	5,253	4,452
		(10,706)	(5,388)	(5,318)	(4,451)
千 代 田 町	21.73	10,702	5,427	5,275	4,780
		(10,792)	(5,457)	(5,335)	(4,744)
邑 楽 町	31.11	25,303	12,728	12,575	11,143
		(25,444)	(12,873)	(12,571)	(11,002)
合 計	175.31	132,697	66,640	66,057	61,615
		(133,660)	(67,208)	(66,452)	(61,157)

() 内は令和7年4月1日現在

管内図・消防庁舎所在地



区 分 名 称	所在地	電話番号	
消防本部 館林消防署	館林市上赤生田町4050番地の1	総務課 庶務係/72-7229	予防課 予防係/72-8366
		総務課 企画広報係/72-8360	予防課 設備係/72-8363
		警防課 警防係/72-8361	予防課 保安係/72-8364
		警防課 装備係/72-8362	
		指令救急課/72-3170	館林消防署/72-8369
		指令救急課 救急管理係/72-8368	館林消防署 救急係/72-8370
西分署	館林市北成島町1647番地の1	0276-75-6656	
北分署	館林市細内町687番地の3	0276-72-6441	
板倉消防署	板倉町大字板倉3427番地の5	0276-82-1138	
明和消防署	明和町南大島265番地1	0276-84-3131	
千代田消防署	千代田町大字萱野1218番地の1	0276-86-3202	
邑楽消防署	邑楽町大字中野2647番地1	0276-88-5551	

消防庁舎の概要

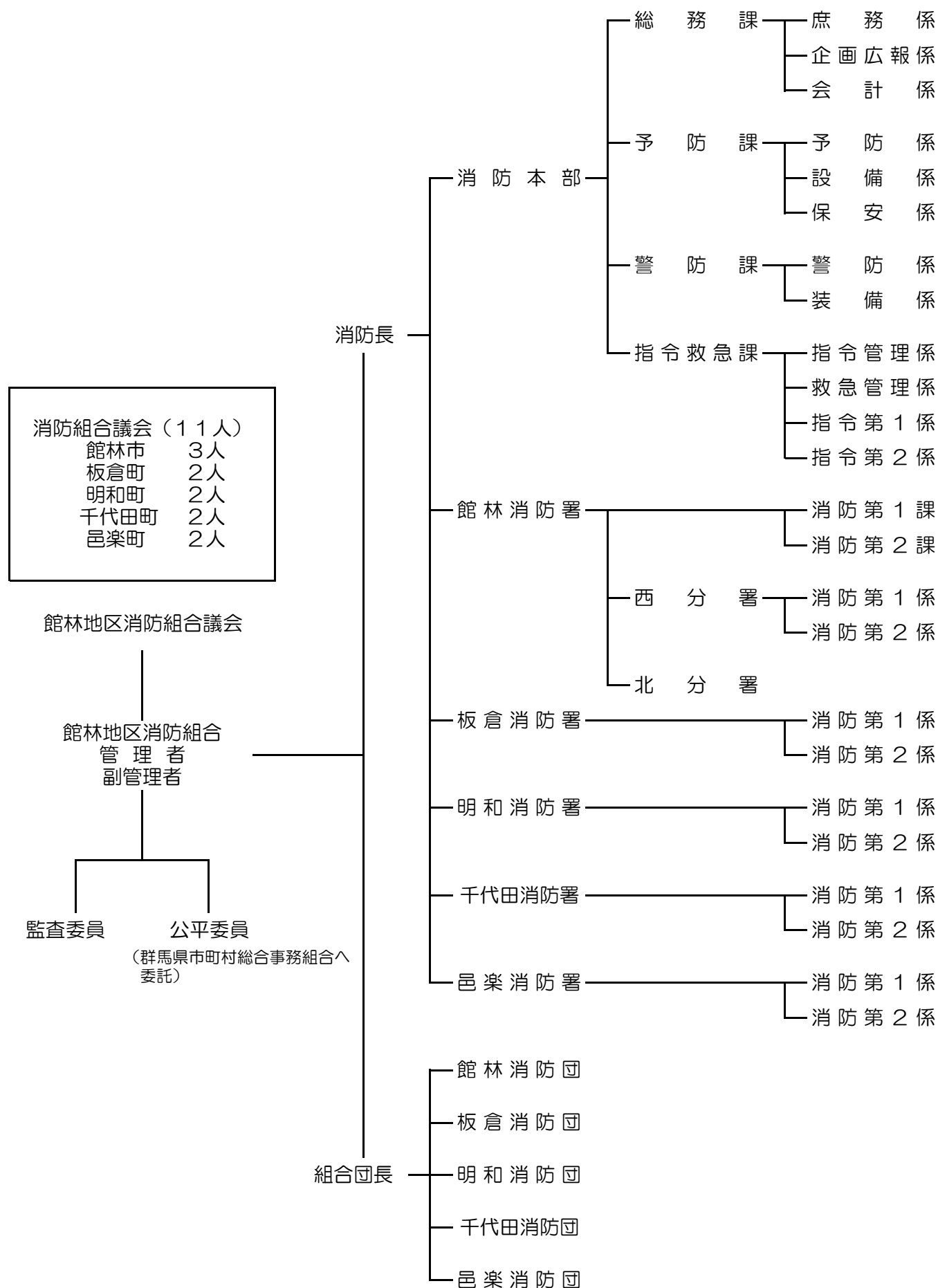
名 称	構 造	面 積 (㎡)		敷地面積 (㎡)	建築年月
		建築面積	延面積		
消 防 本 部 館 林 消 防 署	・ 庁 舎 (RC造3階建 一部鉄骨造)	1,640.77	3,319.74	12,037.28	令2.4 (移転新築)
	・ 本部車両車庫棟 (鉄骨造平屋建)	302.54	289.09		
	・ 訓練塔A塔 (RC造5階建)	52.42	220.50		
	・ 訓練塔B塔 (鉄骨造地下1階地上3階建)	46.16	112.69		
	・ 訓練塔C塔 (鉄骨造2階建)	32.17	62.98		
	・ 倉庫棟 (鉄骨造平屋建)	336.00	294.00		
	・ 自家給油所 (鉄骨造平屋建)	17.50	22.50		
	(総 計)	2427.56	4321.50		
西 分 署	・ 庁 舎 (鉄骨造2階建 洋瓦葺)	527.54	693.40	1,957.69	平14.4
北 分 署	・ 庁 舎 (鉄骨造2階一部平屋建 (車庫含む))	347.77	449.88	2,315.0	平 1.5
	・ 訓練塔A塔 (鉄骨コンクリート造5階建)	29.16	145.80		(増築)
	・ 訓練塔B塔 及びC塔 (鉄骨造高さ7m)				平 9.3
	・ 車庫、外壁補修工事				令4.3
板 倉 消 防 署	・ 庁 舎 (鉄骨造2階建珋素鋼板横段葺)	748.41	965.08	5,526.64	平21.4
	・ 訓練塔 (RC造高さ7.75m)	30.00	60.00		(増築)
	・ 水防倉庫 (木造平屋建)	66.24	66.24		平24.3
明 和 消 防 署	・ 庁 舎 (鉄骨造2階建 洋瓦葺)	525.57	726.72	2,375.44	平19.3
千 代 田 消 防 署	・ 庁 舎 (鉄骨造2階建 洋瓦葺)	688.88	846.75	3,684.97	平22.3
	・ 水防倉庫 (木造平屋建)	66.24	66.24		
邑 楽 消 防 署	・ 庁 舎 (鉄筋コンクリート造2階建 及び 鉄骨造平屋建)	635.63	890.69	4,508.00	平20.5
	・ 訓練塔 (鉄骨造高さ10.2m)	32.72	87.54		令5.3 (女性エリア 改修)
	・ 水防倉庫 (プレハブ造)	37.21	37.21		

消防勢力

区 分	消防吏員	消防吏員一人当たり			消防 ポンプ車数	消防ポンプ車一台当たり		
	総 員	面積 k㎡	人 口	世帯数		面積 k㎡	人 口	世帯数
組 合 総 計	198	0.89	670	311	12	14.61	11,058	5,135
消 防 本 部 通 信 指 令 課	39							
館 林 消 防 署 北 ・ 西 分 署	70	0.87	1,041	503	6	10.16	12,147	5,865
板 倉 消 防 署	21	1.99	630	288	2	20.93	6,610	3,026
明 和 消 防 署	21	0.94	504	212	1	19.64	10,588	4,452
千 代 田 消 防 署	21	1.03	510	228	1	21.73	10,702	4,780
邑 楽 消 防 署	26	1.20	973	429	2	15.56	12,652	5,572

総務課

消防組合組織図



消防本部事務分掌

総務課

庶務係

- ・ 公印の保管に関すること。
- ・ 職員の任用、分限、懲戒、服務その他身分に関すること。
- ・ 予算の編成及び執行管理に関すること。
- ・ 諸給与に関すること。
- ・ 条例、規則に関すること。
- ・ 文書の収発及び編さん保存に関すること。
- ・ 職員の福利厚生及び共済に関すること。
- ・ 組合議会に関すること。
- ・ 監査に関すること。
- ・ 組合公平委員会に関すること。
- ・ 個人情報の保護に関すること。
- ・ 安全衛生管理に関すること。
- ・ 消防職員委員会に関すること。
- ・ 職員の公務災害に関すること。
- ・ 他の主管に属さないこと。

企画広報係

- ・ 火災予防の普及宣伝に関すること。
- ・ 儀式・表彰に関すること。
- ・ 消防行政の総合調査、企画及び調整に関すること。
- ・ 広報、公聴及び防火相談に関すること。
- ・ 消防職員の教養に関すること。
- ・ 消防情報に関すること。
- ・ 各種統計に関すること。
- ・ 各種計画に関すること。
- ・ 消防長会等に関すること。
- ・ 消防音楽隊に関すること。

会計係

- ・ 会計、経理に関すること。
- ・ 資機材及び物品の購入、修繕、保管、出納管理に関すること。
- ・ 決算の調整に関すること。
- ・ 組合債及び補助金等に関すること。
- ・ 手数料等の徴収に関すること。
- ・ 契約に関すること。
- ・ 基金に関すること。
- ・ 財政状況の作成及び公表に関すること。

予防課

予防係・設備係

- ・ 建築物の同意事務に関すること。
- ・ 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- ・ 防火対象物の防火指導に関すること。
- ・ 査察に関すること。
- ・ 火災予防対策と広報に関すること。
- ・ 防火・防災管理に関すること。
- ・ 住宅防火対策に関すること。
- ・ 防火協力団体に関すること。
- ・ 法令に基づく各種届出に関すること。

保安係

- ・ 危険物規制事務に関すること。
- ・ 危険物施設等の災害・火災予防指導に関すること。
- ・ 高圧ガス等の火災予防事務に関すること。
- ・ 少量危険物、指定可燃物等の災害、火災予防指導に関すること。
- ・ 火災原因、損害の調査に関すること。
- ・ 火災報告、り災証明等に関すること。
- ・ 火災調査技術の研究に関すること。
- ・ 危険物災害の調査に関すること。
- ・ 手数料等の徴収に関すること。
- ・ 講習等に関すること。
- ・ 各種統計に関すること。
- ・ 法令に基づく各種届出に関すること。
- ・ 消防協力団体に関すること。

警防課

警防係

- ・ 消防力の配備運用及び消防計画に関すること。
- ・ 火災の警戒防ぎょに関すること。
- ・ 消防訓練に関すること。
- ・ 救助に関すること。
- ・ 消防の応援協定等に関すること。
- ・ 緊急消防援助隊に関すること。
- ・ 災害の情報収集に関すること。
- ・ 消防団に関すること。
- ・ 火災予防条例にもとづく警防関係届出に関すること。
- ・ 消防団員の公務災害に関すること。
- ・ 安全運転管理に関すること。
- ・ 消防協会に関すること。

警防課

装備係

- ・ 消防用資機材の配備及び運用管理に関すること。
- ・ 消防施設の管理に関すること。
- ・ 消防機器の操作技術の指導に関すること。
- ・ 水防資機材の調達及び水防活動に関すること。
- ・ 水防計画の策定及び水防工法の普及に関すること。
- ・ 地理、水利の調査保全に関すること。
- ・ 開発行為に関すること。
- ・ 火薬類（煙火）消費に関すること。
- ・ 車両共済及び建物共済等保険に関すること。

指令救急課

指令管理係

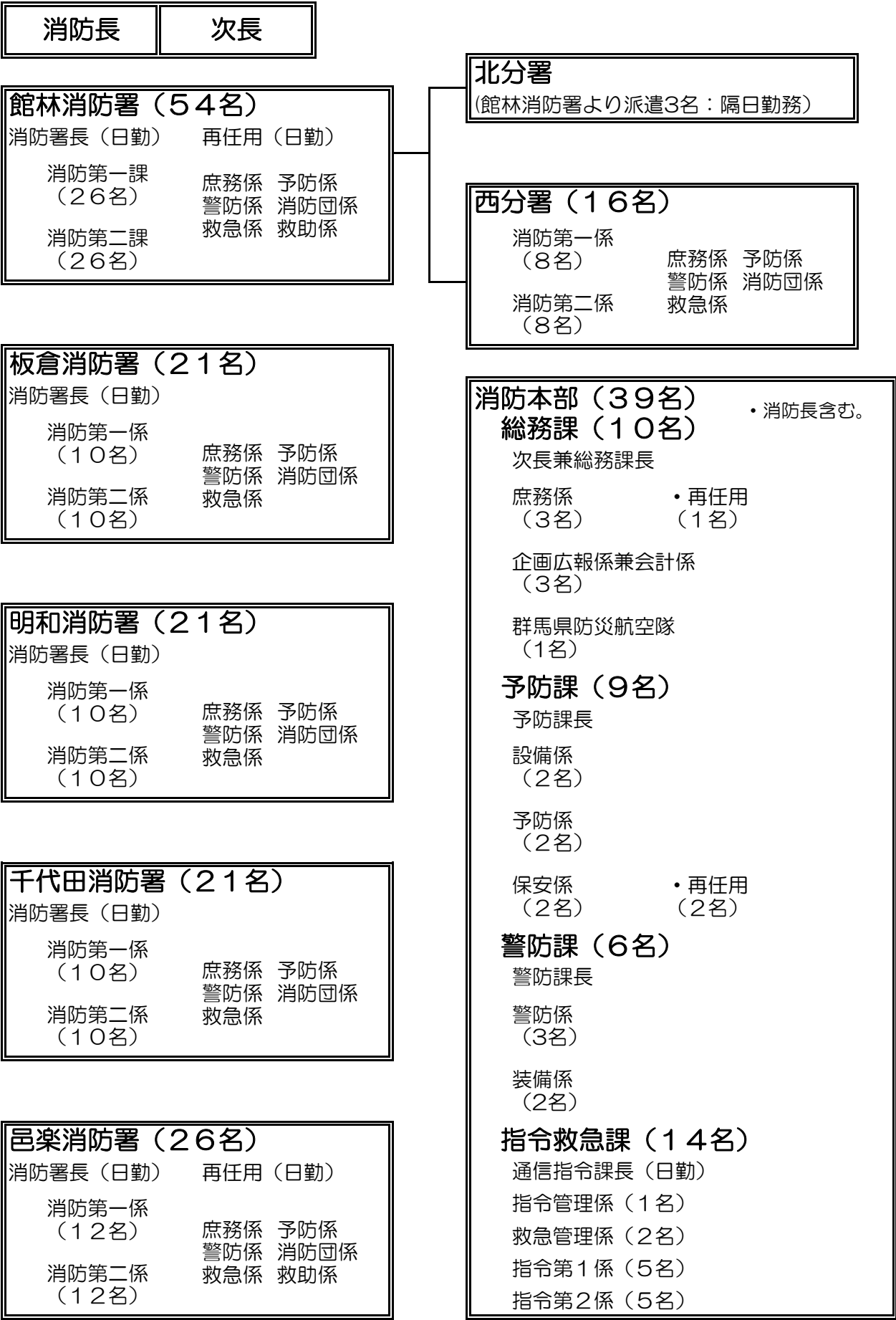
- ・ 火災、救急、救助その他災害の出場指令に関すること。
- ・ 災害の情報収集、情報伝達及び即報に関すること。
- ・ 火災の警報及び消防信号に関すること。
- ・ 通信施設の運用管理に関すること。
- ・ 通信技術者の指導、教養に関すること。
- ・ 気象の観測及び気象情報に関すること。
- ・ 防災行政無線の運用管理に関すること。
- ・ 救急医療情報の収集、伝達及び案内に関すること。
- ・ 救急及び通報統計に関すること。
- ・ 緊急通報システムに関すること。
- ・ NET 1 1 9に関すること。
- ・ その他通信業務及び無線業務に関すること。

救急管理係

- ・ 救急業務の企画及び運営に関すること。
- ・ 救急技術の研究及び指導に関すること。
- ・ 救急業務の高度化推進に関すること。
- ・ 救急資機材の整備及び保全に関すること。
- ・ 応急手当普及啓発に関すること。
- ・ 患者等搬送事業の指導及び認定に関すること。
- ・ 救急統計及び報告に関すること。
- ・ 救急救命士及び救急隊員の教育、指導及び研修に関すること。
- ・ 救急医療機関及びその他関係機関との連絡調整に関すること。
- ・ メディカルコントロール体制に関すること。
- ・ その他救急事務に関すること。

消防本部の機構

令和8年4月1日 現在



消防署及び分署事務分掌

庶務係

- ・ 公印の保管に関すること。
- ・ 文書の収発及び編さん保存に関すること。
- ・ 予算の編成及び執行管理に関すること。
- ・ 研修、服務に関すること。
- ・ 事務事業の計画及び総合調整に関すること。
- ・ 福利厚生及び安全衛生に関すること。
- ・ 庁舎及び備品に関すること。
- ・ 他の係に属さないこと。

予防係

- ・ 火災予防思想の普及啓発に関すること。
- ・ 消防対象物の立入検査及び指導に関すること。
- ・ 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- ・ 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- ・ 火災予防に係る各種届出書の受理に関すること。
- ・ 消防協力団体に関すること。
- ・ その他火災予防に関すること。

警防係

- ・ 火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- ・ 消防水利の計画及び維持管理に関すること。
- ・ 警防計画に関すること。
- ・ 消防訓練に関すること。
- ・ 消防車両等の保守管理及び整備に関すること。
- ・ 消防警備に関すること。
- ・ その他警防に関すること。

消防団係

- ・ 消防団員の教養訓練に関すること。
- ・ 消防団員の表彰に関すること。
- ・ その他消防団の事務に関すること。

救急係

- ・ 救急活動に関すること。
- ・ 応急手当の普及啓発に関すること。
- ・ 救急資機材の維持管理に関すること。
- ・ 救急統計に関すること。

救助係

- ・ 救助活動に関すること。
- ・ 救助訓練、指導に関すること。
- ・ 救助機器等の維持管理に関すること。
- ・ 救助活動等の報告及び統計に関すること。

消防組合予算及び決算

組合予算歳入事項別明細

(単位：千円)

款	令和8年度	前 年 度	比 較
1 分担金及び負担金	2,454,691	2,323,957	130,734
2 使用料及び手数料	5,212	5,212	0
3 国庫支出金	17,678	22,094	△ 4,416
4 県支出金	321	384	△ 63
5 財産収入	124	10	114
6 繰入金	20	29,551	△ 29,531
7 繰越金	5,050	5,050	0
8 諸収入	5,207	5,898	△ 691
9 組合債	125,300	190,700	△ 65,400
歳入合計	2,613,603	2,582,856	30,747

組合予算歳出事項別明細

(単位：千円)

款	令和8年度 予算額	前 年 度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国県支出金	地方債	その他	
1 議会費	1070	923	147				1070
2 総務費	8,659	7,976	683			124	8,535
3 消防費	2,331,193	2,326,694	4,499	17,999	125,300	8,262	2,179,632
4 公債費	262,681	237,263	25,418				262,681
5 予備費	10,000	10,000	0				10,000
歳出合計	2,613,603	2,582,856	30,747	17,999	125,300	8,386	2,461,918

構成市町別消防費内訳

館 林 市

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消 防 費	比 率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	防 災 費
令和8年度	33,980,000	1,163,055	3.42%	1,040,376	51,057	31,258	40,364
令和7年度	31,950,000	1,127,994	3.53%	976,878	49,979	32,447	68,690

板 倉 町

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消 防 費	比 率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	防災対策費
令和8年度	6,780,000	340,880	5.03%	280,060	33,750	9,762	17,308
令和7年度	6,500,000	338,534	5.21%	263,531	27,699	9,578	37,726

明 和 町

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消 防 費	比 率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災害対策費
令和8年度	10,770,000	285,354	2.65%	234,212	27,327	4,178	19,637
令和7年度	8,200,000	305,224	3.72%	222,550	25,916	10,383	46,375

千 代 田 町

(単位：千円)

予算額 年度	予算総額	消 防 費	比 率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災害対策費
令和8年度	8,880,000	313,306	3.53%	235,759	26,460	15,307	35,780
令和7年度	8,800,000	299,552	3.40%	222,483	25,503	11,074	40,492

邑 楽 町

(単位：千円)

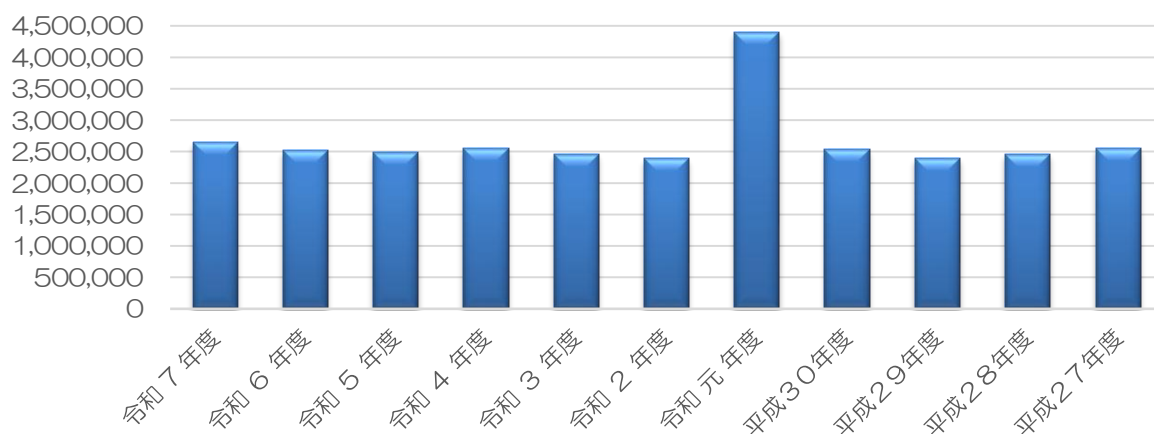
予算額 年度	予算総額	消 防 費	比 率	消 防 費 内 訳			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	災害対策費
令和8年度	11,090,000	546,905	4.93%	424,200	30,216	14,160	78,329
令和7年度	11,770,000	481,674	4.09%	402,697	30,424	13,014	35,539

年度別 歳入歳出決算額

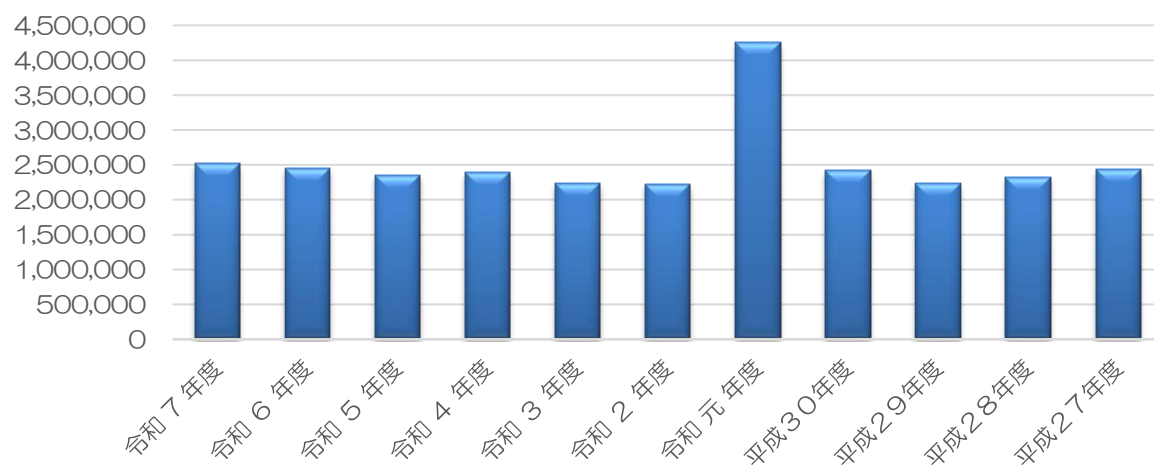
(単位：千円)

区 分 年 度	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 残 高
令和 7 年度	2,649,328	2,520,664	128,664
令和 6 年度	2,521,801	2,449,222	72,579
令和 5 年度	2,495,995	2,343,737	152,258
令和 4 年度	2,555,043	2,390,592	164,451
令和 3 年度	2,466,038	2,231,467	234,571
令和 2 年度	2,393,135	2,226,536	166,599
令和 元 年度	4,395,272	4,261,255	134,017
平成30年度	2,534,017	2,419,496	114,521
平成29年度	2,387,011	2,236,434	150,577
平成28年度	2,457,012	2,328,881	128,131
平成27年度	2,550,121	2,434,804	115,317

歳 入 決 算 額



歳 出 決 算 額



消防職員の現況

消防吏員等現員調

令和8年4月1日現在

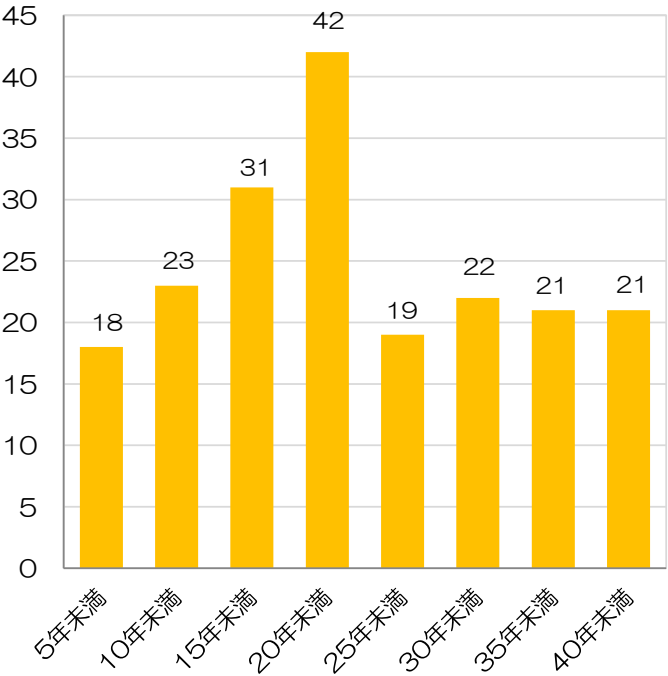
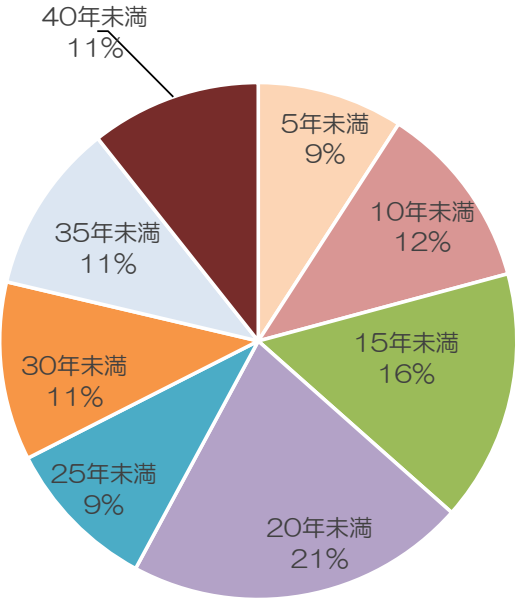
階 級 別 所 属 別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	本 部 次 長 兼 総 務 課 長		1						1
	総務課			1	6	1			8
	課 長								
	庶 務 係			1	2	1			4
	企画広報係兼会計係				3				3
	防災航空隊派遣				1				1
	県消防学校出向								
	総務課付								
	予防課		1	1	5	1	1		9
	課 長		1						1
	予 防 係			1	1				2
	設 備 係				1		1		2
	保 安 係				3	1			4
	警防課		1		5				6
	課 長		1						1
	警 防 係				3				3
	装 備 係				2				2
	通信指令課		1	2	9		2		14
	課 長		1						1
	指令管理係				1				1
	救急管理係			1			1		2
	通信指令係			1	8		1		10
	小 計	1	4	4	25	2	3		39
	館林消防署		3	4	25	4	11	7	54
	北 分 署								
	西 分 署			3	6	4	2	1	16
	板倉消防署		1	3	9	5	1	2	21
	明和消防署		1	2	8	4	1	5	21
	千代田消防署		1	3	8	6		3	21
	邑楽消防署		1	2	14	3	3	3	26
	小 計		7	17	70	26	18	21	159
合 計		1	11	21	95	28	21	21	198

※再任用短時間職員含む

消防吏員勤続年数調

令和8年4月1日現在

階 級 勤続年数	消 防 監	消 司 令 長	消 司 令	防 司 令	消 司 令 補	消 士	防 長	消 副 士	防 長	消 防 士	計
1年未満										4	4
1年以上～2年未満										4	4
2年以上～3年未満										4	4
3年以上～4年未満										4	4
4年以上～5年未満								2			2
5年以上～6年未満								2	2		4
6年以上～7年未満								1	1		2
7年以上～8年未満								2	1		3
8年以上～9年未満						1		3			4
9年以上～10年未満						1		9			10
10年以上～11年未満						6		1			7
11年以上～12年未満						4		1			5
12年以上～13年未満					1	10					11
13年以上～14年未満					4	1					5
14年以上～15年未満					3						3
15年以上～16年未満					4	4					8
16年以上～17年未満					9						9
17年以上～18年未満					7						7
18年以上～19年未満					9						9
19年以上～20年未満					9						9
20年以上～21年未満											
21年以上～22年未満					5						5
22年以上～23年未満					3						3
23年以上～24年未満					5						5
24年以上～25年未満					6						6
25年以上～26年未満					8						8
26年以上～27年未満					2						2
27年以上～28年未満				2	2						4
28年以上～29年未満				1	1						2
29年以上～30年未満					6						6
30年以上～31年未満					1						1
31年以上～32年未満				2							2
32年以上～33年未満				6	1						7
33年以上～34年未満				4	4						8
34年以上～35年未満				3							3
35年以上～36年未満				2	1						3
36年以上～37年未満		3			1						4
37年以上～38年未満	1	2									3
38年以上～39年未満		4			2						6
39年以上～40年未満		2	1		1	1					5
40年以上～41年未満						1					1
41年以上											
合 計	1	11	21	95	29	21	20				198
平均勤続年数	37.0	37.5	32.3	21.9	13.6	7.8	2.4				19.3

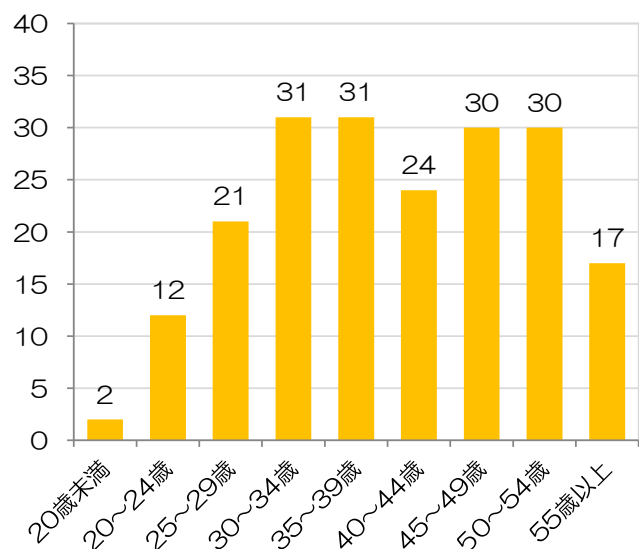
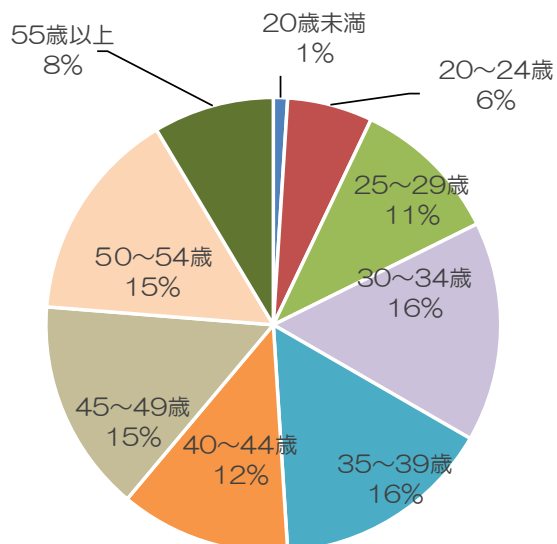


消防吏員年齢調

令和8年4月1日現在

階級 年齢	消 防 監	消 司 令	防 長	消 司 令	防 司 令	消 司 令	補 士	防 長	副 士	防 長	消 防 士	計
18歳											2	2
19歳												0
20歳											1	1
21歳											3	3
22歳											2	2
23歳											4	4
24歳											2	2
25歳											3	3
26歳										3	1	4
27歳										4	2	6
28歳										4		4
29歳										4		4
30歳								3		4		7
31歳								6		2		8
32歳								5				5
33歳								8				8
34歳						1		2				3
35歳						4		2				6
36歳						9						9
37歳						3						3
38歳						8		1				9
39歳						4						4
40歳						7						7
41歳						2						2
42歳						7						7
43歳						2						2
44歳						6						6
45歳						4						4
46歳						5						5
47歳						8						8
48歳						6						6
49歳				2		5						7
50歳				2								2
51歳				3		4						7
52歳				6		4						10
53歳				3		1						4
54歳			3		3	1						7
55歳			1		1							2
56歳			5			1						6
57歳			1									1
58歳			1		1							2
59歳	1											1
60歳						2						2
61歳						1						1
62歳												0
63歳								2				2
合 計	1	11	21	95	29	21	20					198
平均年齢	59.0	55.6	52.2	43.7	34.6	28.4	22.9					40.3

消防吏員年齢別人数



消防職員の研修状況

派遣研修

令和8年3月31日現在

種 別		人数	延日数
群馬県消防学校（群馬県前橋市）			
初任教育	初任科（78期）	4人	165日
専科教育	警防科（53期）	2人	14日
	予防査察科（47期）	2人	14日
	危険物科（47期）	2人	10日
	火災調査科（47期）	2人	12日
	救急科（31期）	3人	56日
	救助科（53期）	2人	29日
特別教育	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習（12期）	2人	1日
	ポンプ操法指導員（24期）	6人	3日
	フルハーネス墜落制止用器具（5・6期）	2人	1日
幹部教育	上級幹部科（7期）	1人	3日

種 別		人数	延日数
消防大学校（東京都調布市）			
専科教育	火災調査科（第78期）	1人	48日

種 別		人数	延日数
救急救命東京研修所（東京都八王子市）			
	新規救急救命士養成研修（後期）	1人	196日
公立館林厚生病院 病院実習			
	就業前病院実習	2人	26日
	再教育病院実習	33人	3日
県立がんセンター			
	気管挿管実習	1人	22日
公立館林厚生病院			
	気管挿管ビデオ硬性喉頭鏡実習	1人	4日
前橋赤十字病院 病院実習			
	薬剤投与病院実習	2人	19日

消防相互応援協定の状況

※ 協定団体名にあっては、協定締結時の名称

協 定 名	締 結 年 月 日	業 務 内 容	協 定 団 体
消防相互応援協定	昭和44年7月31日 (再) 昭和55年6月16日	消防・救急・救助業務	佐野市
東北自動車道内の館林・佐野藤岡インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	昭和47年11月13日 (再) 平成26年4月1日	東北自動車道消防・救急業務	佐野市
消防相互応援協定	昭和55年6月16日	消防・救急・救助業務	足利市
消防相互応援協定	昭和63年12月27日	水火震災及びその他の災害	藤岡町
消防相互応援協定	平成元年3月28日	消防・救急・救助業務	栃木地区広域行政事務組合
東北高速道路管内市町（組合）の消防相互応援協定	昭和52年4月1日 (再) 平成27年3月27日	火災又は救急事故の災害	埼玉県羽生市 埼玉県川口市 埼玉県さいたま市 埼玉県蓮田市 埼玉東部消防組合
地震等災害における消火活動業務に関する協定	平成10年4月1日	水の供給	群馬県東毛生コンクリート事業協同組合
災害時における消防用水等に関する協定	平成31年4月18日		
携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定	平成10年9月21日	通報・伝達業務	太田市消防本部 桐生市外六か町村広域市町村振興整備組合
群馬県防災航空隊支援協定	平成18年3月27日	特定していない	群馬県
群馬県消防相互応援協定	昭和49年12月24日 (再) 平成30年12月13日	特定していない	前橋市消防本部 高崎市等広域消防局 桐生市消防本部 伊勢崎市消防本部 太田市消防本部 利根沼田広域消防本部 渋川地区広域消防本部 多野藤岡広域消防本部 富岡甘楽広域消防本部 吾妻広域消防本部
消防相互応援協定	昭和51年1月14日	水火震災及びその他の災害	加須地区消防組合
千代田町防災行政用無線運用協定	平成元年6月16日	無線運用	千代田町
鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	平成21年7月1日	鉄道災害・鉄道沿線の火災	東武鉄道株式会社 太田市消防本部 桐生市消防本部 伊勢崎市消防本部
足利赤十字病院ドクターカー運用に関する協定	平成21年8月19日	救急業務	足利赤十字病院
消防相互応援協定	平成23年2月18日	火災（大規模災害・特殊災害） 救急事故等	羽生市
消防相互応援協定	平成23年4月1日	火災（大規模災害・特殊災害） 救急事故等	行田市
消防相互応援協定	平成23年12月27日	火災（大規模災害・特殊災害） 救急事故等	茨城西南地方広域市町村圏事務組合
消防相互応援協定	平成25年5月8日	火災（大規模災害・特殊災害） 救急事故等	埼玉東部消防組合
消防相互応援協定（消防団）	平成25年9月1日	水火震災及びその他の災害	加須市
特殊災害消防対策相互応援協定	昭和51年12月20日 (再) 平成26年4月1日	特殊災害 （危険物施設・中高層建物火災等の特殊災害及び多数の死傷者等が予測される災害）	桐生市 伊勢崎市 太田市 足利市 佐野市
消防相互応援協定	平成29年9月26日	水難事故	熊谷市
災害時における食料・物資供給等に関する協定	令和3年8月5日	食料・物資の供給等	株式会社とりせん

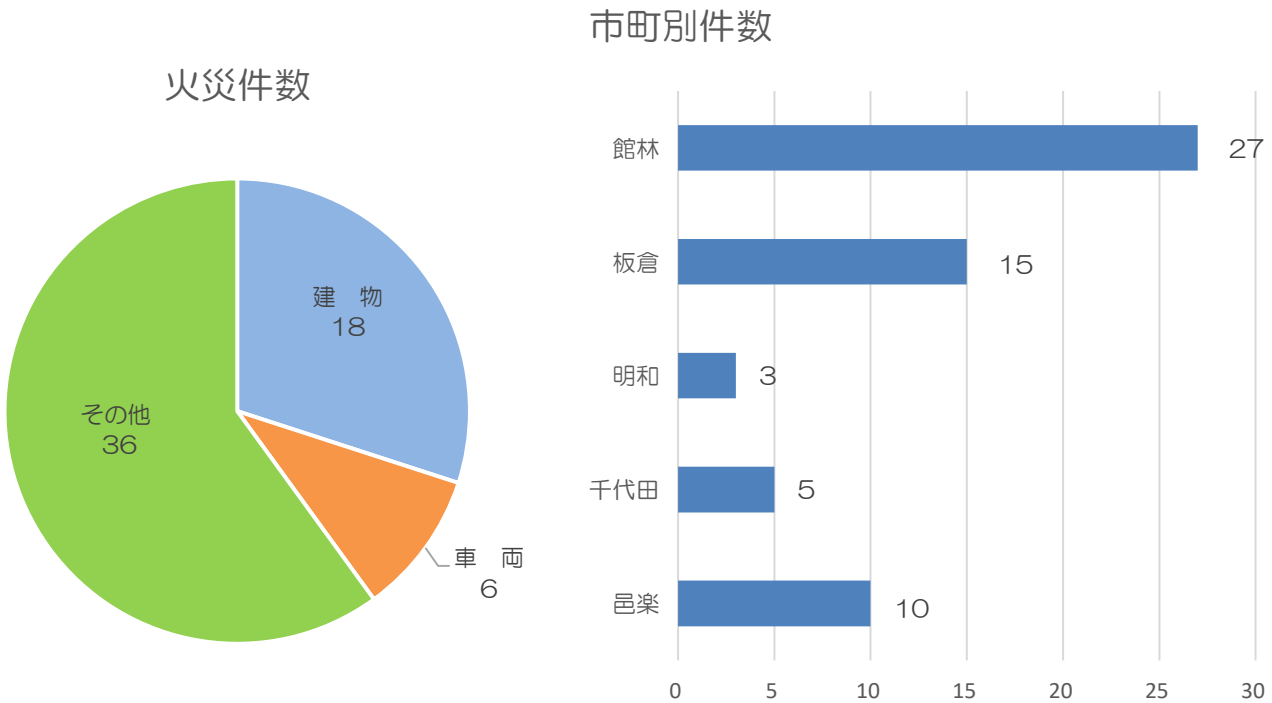
予 防 課

令和7年中の火災発生状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

市町 (注1)	火災件数					焼損棟数		り災世帯数		り災人員	死傷者		建物焼損
	建物	車両	その他	計	出火率 (注2)	全半焼	ぼや部分焼	全半損	小損		死者	傷者	焼損面積(注3) (単位㎡)
館林市 73,677	9	2	16	27	3.7 件 (1.2)	5	5	3	2	9	4		507 (56.3)
板倉町 13,461	3	1	11	15	11.3 件 (2.3)		3		1	1		2	8 (2.7)
明和町 10,751	1		2	3	2.8 件 (0.9)		1		1	2			4 (4.0)
千代田町 10,848	1	2	2	5	4.7 件 (0.9)	2	1					1	152 (152.0)
邑楽町 25,558	4	1	5	10	3.9 件 (1.6)	3	3	1		2			141 (35.3)
計 134,295	18	6	36	60	4.5 件 (1.4)	10	13	4	4	14	4	3	812 (45.1)

- 注1 管内人口 令和7年1月1日現在(単位人)。
- 注2 出火率欄の()内は、建物火災の出火率を再掲。(人口1万人あたり)
- 注3 建物焼損面積欄の()内は、建物火災1件あたりの焼損面積。



市町・原因別火災発生状況

原 因 別	市 町 別					
	令 和 7 年 中					
	館林市	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町	合計
たばこ	1		1		2	4
こんろ	1	1				2
かまど						
風呂かまど						
炉						
焼却炉	2					2
ストーブ	1					1
こたつ						
ボイラー						
煙突・煙道						
排気管		1				1
電気機器				1		1
電気装置						
電灯・電話等の配線						
内燃機関						
配線器具	1					1
火遊び						
マッチ・ライター						
たき火	2	7		2	1	12
溶接機・切断機					1	1
灯火						
衝突の火花						
取灰						
火入れ	2	4			3	9
放火	1					1
放火の疑い	3					3
その他	8	1	1	1	2	13
不明	5	1	1	1	1	9
合計	27	15	3	5	10	60

市町別火災種別及び損害額

() 件数・下段損害額(単位千円)

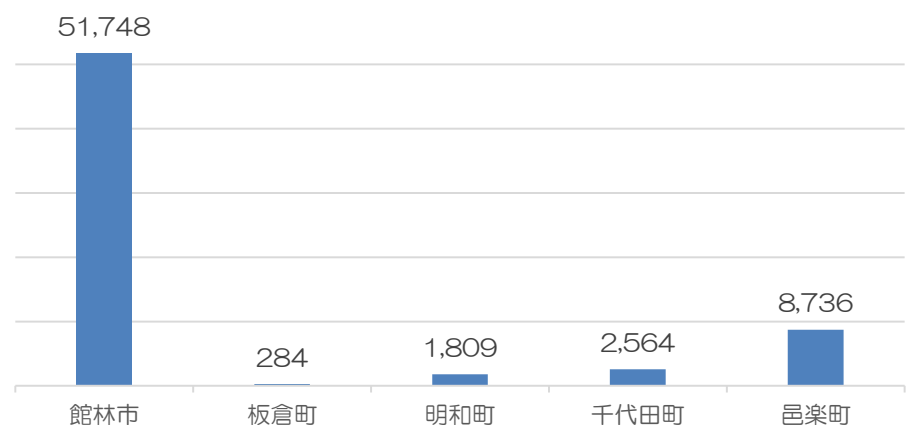
市町別 種別	館林市	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町	合計
建物	(9) 49,663	(3) 176	(1) 1,797	(1) 2,231	(4) 7,726	(18) 61,539
林野	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
車両	(2) 2,085	(1) 100	(0) 0	(2) 333	(1) 1,000	(6) 3,518
その他	(16) 0	(11) 8	(2) 12	(2) 0	(5) 10	(36) 30
合計	(27) 51,748	(15) 284	(3) 1,809	(5) 2,564	(10) 8,736	(60) 65,141

覚知別火災件数

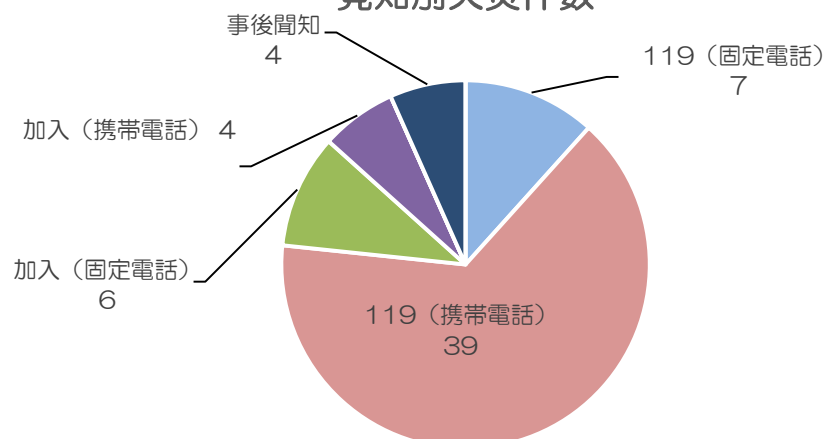
覚知種別	火災件数
119(固定電話)	7
119(携帯電話)	39
加入(固定電話)	6
加入(携帯電話)	4
警察	0
駆け付け	0
事後聞知	4
その他	0
合計	60

市町別損害額

単位：千円



覚知別火災件数

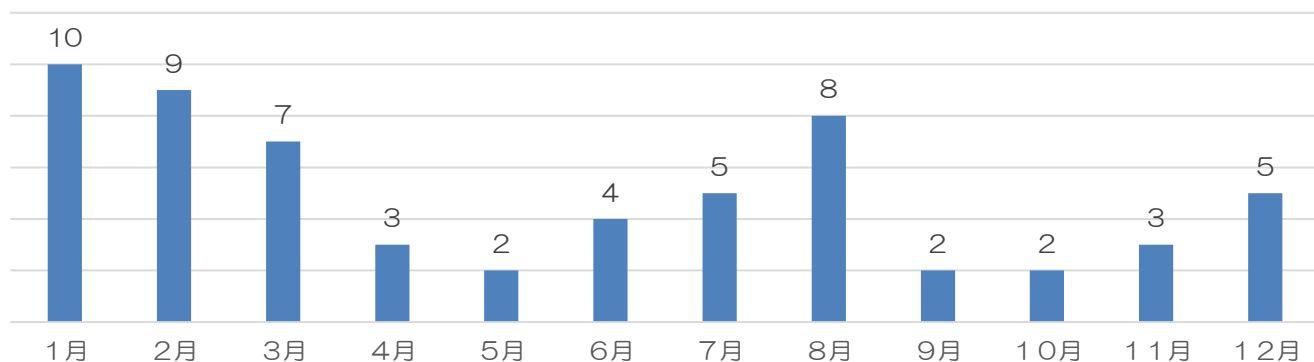


月別火災発生状況

(件)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
10	9	7	3	2	4	5	8	2	2	3	5	60

月別火災件数

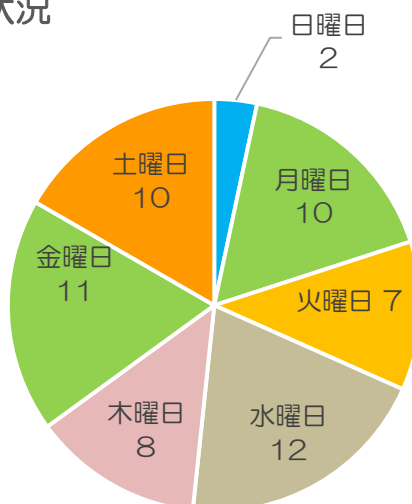


曜日別火災発生状況

(件)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明	合計
2	10	7	12	8	11	10	0	60

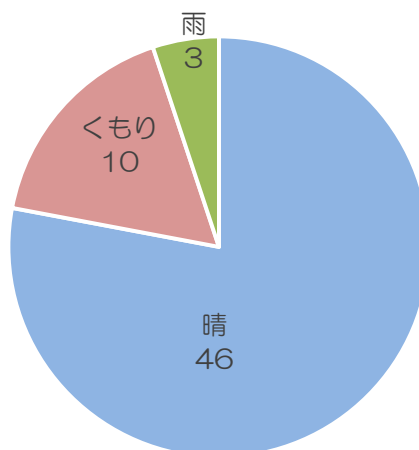
曜日別火災発生状況



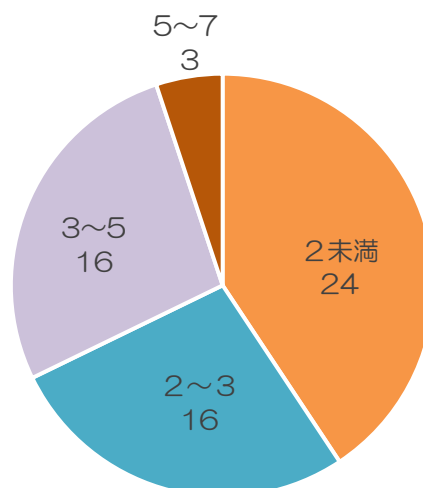
気象別火災件数

区 分		(件) 計
天 気	晴	46
	くもり	10
	雨	3
	雪	0
	雷	1
	小 計	60
風 速 m	2未満	24
	2～3	16
	3～5	16
	5～7	3
	7～10	1
	10以上	0
	小 計	60
湿 度 %	40未満	20
	40～50	8
	50～60	6
	60～70	13
	70～80	6
	80～90	4
	90以上	3
	小 計	60

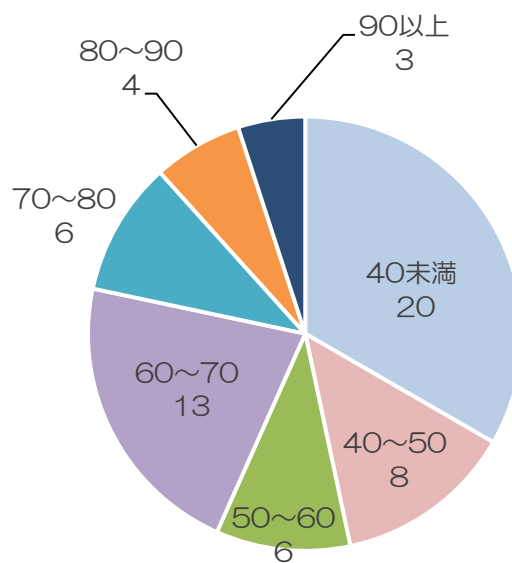
天気



風速(m)



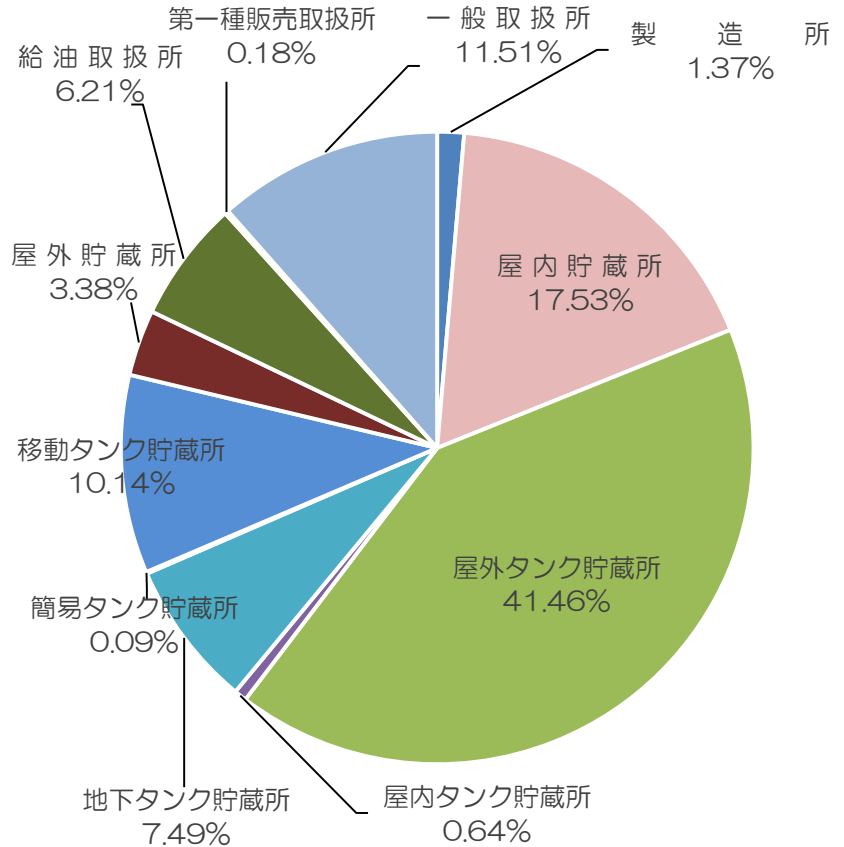
湿度(%)



危険物製造所等の管内設置状況

令和8年3月31日現在

製造所等の別		総数
合計		1,095
製造所		15
貯蔵所	小計	884
	屋内貯蔵所	192
	屋外タンク貯蔵所	454
	屋内タンク貯蔵所	7
	地下タンク貯蔵所	82
	簡易タンク貯蔵所	1
	移動タンク貯蔵所	111
	屋外貯蔵所	37
取扱所	小計	196
	給油取扱所	68 (38)
	第一種販売取扱所	2
	一般取扱所	126 (13)
	事業所	625



注 ・給油取扱所の（ ）中には、自家用の給油取扱所の数を再掲
 ・一般取扱所の（ ）中には、小口詰替の一般取扱所の数を再掲

危険物製造所等の事務処理状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

区分 製造所等の別		総数	許可		完成		仮使用	廃止届
			設置	変更	設置	変更		
合計		116	12	30	11	26	23	14
製造所		33		12		10	11	
貯蔵所	小計	56	9	11	9	11	5	11
	屋内貯蔵所	20	4	3	4	4	3	2
	屋外タンク貯蔵所	15	3	2	3	1	2	4
	屋内タンク貯蔵所	1						1
	地下タンク貯蔵所	0						
	簡易タンク貯蔵所	0						
	移動タンク貯蔵所	20	2	6	2	6		4
	屋外貯蔵所	0						
取扱所	小計	27	3	7	2	5	7	3
	給油取扱所	3		1		1	1	
	第一種販売取扱所	0						
	一般取扱所	24	3	6	2	4	6	3

危険物製造所等の数量別調査表

令和8年3月31日現在

区 分 製造所等の別		総 数	5倍以下	5倍超 10倍以下	10倍超 50倍以下	50倍超 100倍以下	100倍超 150倍以下	150倍超 200倍以下	200倍超 1000倍以下	1000倍超 5000倍以下	5000倍超 10,000倍以下	10,000倍 超え
合 計		1,095	573	188	157	68	39	15	40	8		7
製 造 所		15	1	6	4	3				1		
貯 蔵 所	小 計	884	528	131	94	54	30	12	23	5		7
	屋 内 貯 蔵 所	192	82	43	28	7	7	9	6	3		7
	屋外タンク貯蔵所	454	340	35	37	23	4	2	12	1		
	屋内タンク貯蔵所	7	4	2	1							
	地下タンク貯蔵所	82	27	23	23	3	2	1	2	1		
	簡易タンク貯蔵所	1	1									
	移動タンク貯蔵所	111	62	6	3	20	17		3			
	屋 外 貯 蔵 所	37	12	22	2	1						
取 扱 所	小 計	196	44	51	59	11	9	3	17	2		
	給 油 取 扱 所	68	1	10	27	5	6	3	15	1		
	第一種販売取扱所	2	1		1							
	一 般 取 扱 所	126	42	41	31	6	3		2	1		

危険物製造所等の類別調査表

令和8年3月31日現在

種 別 製造所等の別		総 数	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混 在
合 計		1,095	2	2		1,074	2		15
製 造 所		15				12			3
貯 蔵 所	小 計	884	2	2		866	2		12
	屋 内 貯 蔵 所	192	2	2		174	2		12
	屋外タンク貯蔵所	454				454			
	屋内タンク貯蔵所	7				7			
	地下タンク貯蔵所	82				82			
	簡易タンク貯蔵所	1				1			
	移動タンク貯蔵所	111				111			
	屋 外 貯 蔵 所	37				37			
取 扱 所	小 計	196				196			
	給 油 取 扱 所	68				68			
	第一種販売取扱所	2				2			
	一 般 取 扱 所	126				126			

数量別タンク検査状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

検査別 \ 数量別	計	10kℓ以下	10kℓ超 1,000kℓ以下	1,000kℓ超 2,000kℓ以下	2,000kℓ超
水 張 検 査	3	3	0	0	0

検査別 \ 数量別	計	600ℓ以下	600ℓ超 10kℓ以下	10kℓ超 20kℓ以下	20kℓ超
水 圧 検 査	181	0	30	92	59

消防用設備等の点検報告等実施状況

令和8年3月31日現在

対象物 用途別		点検を要する対象物			報告済対象物			点検対象物	
		総 数	1000 ㎡ 未 満	1000 ㎡ 以 上	総 数	1000 ㎡ 未 満	1000 ㎡ 以 上	要点検 1000 ㎡ 以 上	点検済 1000 ㎡ 以 上
1	劇 場 ・ 映 画 館	5	1	4	3	1	2	4	2
	公 会 堂 ・ 集 会 所	65	48	17	53	37	16	17	16
2	キ ャ バ レ ー 等	6	5	1	2	1	1	1	1
	遊 戯 場 等	14	10	4	5	3	2	4	2
	性風俗関連特殊営業店舗等	1	1						
	カラオケボックス等	2	2		2	2			
3	待 合 ・ 料 理 店	4	4		1	1			
	飲 食 店	243	243		88	88			
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	287	222	65	174	121	53	65	53
5	旅 館 ・ ホ テ ル	62	54	8	41	36	5	8	5
	共 同 住 宅 ・ 寮	1,338	1,227	111	309	246	63	111	63
6	病 院 ・ 診 療 所	81	62	19	48	32	16	19	16
	老人短期入所施設等	90	57	33	69	41	28	33	28
	老人デイサービスセンター等	139	115	24	95	73	22	24	22
	幼稚園・特別支援学校	12	6	6	6	2	4	6	4
7	学 校	142	56	86	100	37	63	86	63
8	図 書 館	11	6	5	11	6	5	5	5
9	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等								
	公 衆 浴 場								
10	停 車 場	7	3	4	3		3	4	3
11	神 社 ・ 寺 院	45	43	2	19	17	2	2	2
12	工 場 ・ 作 業 場	1,283	876	407	803	494	309	394	301
	映 画 ス タ ジ オ 等								
13	車 庫 ・ 駐 車 場	24	23	1	11	10	1	1	1
	航 空 機 の 格 納 庫	1		1	1		1	1	1
14	倉 庫	805	569	236	492	317	175	225	168
15	事 務 所 等	585	478	107	343	273	70	106	70
16	複 合 用 途	313	285	28	69	53	16	28	16
	上 記 以 外 の 用 途	109	96	13	28	20	8	13	8
16の2 地 下 街									
17	重 要 文 化 財	1	1						
合 計		5,675	4,493	1,182	2,776	1,911	865	1,157	850

消防用設備等設置状況

消防用設備等 用途別		消 防 用 設 備 等 設 置 対 象 物 数					
		自動火災 報知設備	スプリンクラー 設 備	屋内消火 栓 設 備	漏電火災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	屋外消火 栓 設 備
1	劇 場 ・ 映 画 館	5	1	3		3	1
	公 会 堂 ・ 集 会 所	53	2	13		52	
2	キ ャ バ レ ー 等	2				1	
	遊 戯 場 等	9		5		7	
	性風俗関連特殊営業店舗等	1					
	カラオケボックス等	2					
3	待 合 ・ 料 理 店	2					
	飲 食 店	40		1	1	44	
4	百貨店・マーケット	134	15	19	2	55	
5	旅 館 ・ ホ テ ル	32		1		3	
	共 同 住 宅 ・ 寮	85	1	10		41	
6	病 院 ・ 診 療 所	43	13	7		17	
	老人短期入所施設等	90	89	5		6	
	老人デイサービスセンター等	93	4	6	1	17	
	幼稚園・特別支援学校	12		4		2	
7	学 校	122		89		26	8
8	図 書 館	9		3	1	3	1
9	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等						
	公 衆 浴 場						
10	停 車 場	4		4			
11	神 社 ・ 寺 院	6		1		11	
12	工 場 ・ 作 業 場	651	1	305	1	5	119
	映 画 ス タ ジ オ 等						
13	車 庫 ・ 駐 車 場	6					
	航 空 機 の 格 納 庫	1					
14	倉 庫	377	1	166		6	81
15	事 務 所 等	155		51	2	64	11
16	複 合 用 途	91	6	8	1	21	
	上 記 以 外 の 用 途	14		3	2	12	1
16の2	地 下 街						
17	重 要 文 化 財	1					
合 計		2,040	133	704	11	396	222

令和8年3月31日現在

消 防 用 設 備 等 設 置 対 象 物 数					消 火 設 備 の み		
避 難 器 具	排 煙 設 備	誘導灯	消 防 用 水	連結送 水 管	非 常 電 源		
					専用受電	自家発電	蓄 電 池
	2	5				4	
5	2	63			2	10	1
1		5					
1		13			1	2	
		1					
1		2					
		2					
2		139			2		
2	6	242	3			29	1
1		20		2		1	
115		37		13	8	1	
7	2	73		2		13	
18		91				29	3
10		130			1	5	1
		10					
16		54			70	4	
2		7				2	
		1			4		
1		6			1		
4		284	59	5	239	18	
		2					
1		196	50	1	156	12	3
11		168	12	6	42	7	
19	1	157		5	4	10	
14		19		1	5		
231	13	1,727	124	35	535	147	9

防火管理者選任状況等調

令和8年3月31日現在

届出数 対象物区分		法第8条該当		管理権原単一防火対象物数			
		防火対象物数		防火管理者届出済数		消防計画届出済数	
		甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
1	劇場・映画館	4		4		4	
	公会堂・集会所	52	11	48	6	46	6
2	キャバレー等	3	1				
	遊戯場等	8	3	8	2	8	2
	性風俗関連特殊営業店舗等						
	カラオケボックス等	2		2		2	
3	待合・料理店	2		2		2	
	飲食店	52	70	41	36	40	34
4	百貨店・マーケット	128	54	104	26	103	26
5	旅館・ホテル	8		8		8	
	共同住宅・寮	62	1	48	1	48	1
6	病院・診療所	21	3	20	1	20	1
	老人短期入所施設等	79	2	74	1	71	1
	老人デイサービスセンター等	68	8	65	6	64	6
	幼稚園・特別支援学校	8		8		8	
7	学校	40	2	40	1	40	1
8	図書館	9	1	9		9	
9	蒸気・熱気浴場等						
	公衆浴場						
10	停車場	2		2		2	
11	神社・寺院	18	7	18	3	18	3
12	工場・作業場	118	5	102	3	100	2
	映画スタジオ等						
13	車庫						
	航空機の格納庫						
14	倉庫	30	2	23	1	22	1
15	事務所等	63	12	48	6	48	6
16	複合用途	69	16	50	5	50	4
	上記以外の用途	10	2	9		9	
16の2	地下街						
17	重要文化財						
計		856	200	733	98	722	94

月別建築同意件数

月別 区分		令和7年									令和8年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
館 林 市	新 築	4	6	4	6	17	3	8	11	8	1	9	14	91
	増 築				1	2								3
	改 築													
	移 転								1					1
	模様替													
	用途変更									1				1
	小 計	4	6	4	7	19	3	8	12	9	1	9	14	96
板 倉 町	新 築	2	3				3	3	2	1	2			16
	増 築													
	改 築													
	移 転													
	模様替													
	用途変更													
	小 計	2	3				3	3	2	1	2			16
明 和 町	新 築	2			1	2	1	1	1		2		1	11
	増 築			1										1
	改 築													
	移 転													
	模様替													
	用途変更													
	小 計	2		1	1	2	1	1	1		2		1	12
千 代 田 町	新 築				3	1	1	6	1	2	1		1	16
	増 築						1							
	改 築								1					
	移 転													
	模様替													
	用途変更													
	小 計				3	1	2	6	2	2	1		1	18
邑 楽 町	新 築	2	1	1	4		3	4	2	5	3	2	1	28
	増 築													
	改 築													
	移 転													
	模様替													
	用途変更													
	小 計	2	1	1	4		3	4	2	5	3	2	1	28
合 計	新 築	10	10	5	14	20	11	22	17	16	9	11	17	162
	増 築			1	1	2	1							4
	改 築								1					
	移 転								1					1
	模様替													
	用途変更									1				1
	合 計	10	10	6	15	22	12	22	19	17	9	11	17	170

用途別5階以上建物一覧（延べ面積150㎡以上）

令和8年3月31日現在

用途別 \ 階数		5階未満	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階以上	計
1	劇場・映画館	5									5
	公会堂・集会所	105									105
2	キャバレー等	4									4
	遊戯場等	12									12
	性風俗関連特殊営業店舗等	1									1
	カラオケボックス等	2									2
3	待合・料理店	4									4
	飲食店	134									134
4	百貨店・マーケット	249									249
5	旅館・ホテル	8	2	1	1	1					13
	共同住宅・寮	1,300	21	4	5	3	1	1	1	2	1,338
6	病院・診療所	72	2			1					75
	老人短期入所施設等	90									90
	老人デイサービスセンター等	116									116
	幼稚園・特別支援学校	12									12
7	学校	146	1								147
8	図書館	13	1								14
9	蒸気・熱気浴場等										
	公衆浴場										
10	停車場	9									9
11	神社・寺院	83									83
12	工場・作業場	1,250	2	4	1						1,257
13	車庫・駐車場	26									26
	航空機の格納庫	1									1
14	倉庫	782	1	1							784
15	事務所等	710	6	2	1						719
16	複合用途	347	3	1	3	1				1	356
	上記以外の用途	216	2	2		1					221
16の2	地下街										
17	重要文化財	1									1
合 計		5,698	41	15	11	7	1	1	1	3	5,778

月別各種届出受理件数

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月 別 区 分	令和7年									令和8年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
炉	1												1
ボ イ ラ ー 給 湯 湯 沸 設 備			1	1	3	1	2	1			1	1	11
乾 燥 設 備		2			1				1				4
変 電 設 備	6	4		9	3	3	2	6	5	3	3	3	47
急 速 充 電 設 備											1		1
燃料電池発電設備													
発 電 設 備		1	1	3		1	1	3			2	3	15
蓄 電 池 設 備				1		3			1				5
上記以外の火を 使用する設備等							1	1					2
少 量 危 険 物	2	2	3	3	3	5	4	4	3	2	3	4	38
指 定 可 燃 物		1					1	1	1	3	1	1	9
圧縮アセチレン等	1		3	1			1	1	1		3	1	12
ネオン管灯設備													
火災とまぎらわしい行為	3	5	7	5	6	3	5	10	29	21	4	4	102
催 物 の 開 催	18	15	20	21	17	18	24	7	13	12	12	11	188
禁止行為の解除	10	4	4	2	3				1			17	41
煙 火		1	1		3	3	2		1	2	1	1	15
消 防 活 動 上 支障のある行為	14	10	17	22	14	42	17	18	12	15	6	12	199
合 計	55	45	57	68	53	79	60	52	68	58	37	58	690

署別・月別立入検査実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月 別 区 別		令和7年									令和8年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
館林消防署	防 火 対 象 物	7	46	38	53	29	17	68	32	51	37	33	24	435
	危険物施設等		3	42	1				28					74
	小 計	7	49	80	54	29	17	68	60	51	37	33	24	509
板倉消防署	防 火 対 象 物		8	14	11	3	10	10	3	10	10	4	15	98
	危険物施設等		1						14			1		16
	小 計		9	14	11	3	10	10	17	10	10	5	15	114
明和消防署	防 火 対 象 物	2	10	11	7	4	7	1	2	1	1	6	6	58
	危険物施設等								9					9
	小 計	2	10	11	7	4	7	1	11	1	1	6	6	67
千代田消防署	防 火 対 象 物	6	10	34	11	4	11	6	9	10	8	2	21	132
	危険物施設等			2					7					9
	小 計	6	10	36	11	4	11	6	16	10	8	2	21	141
邑楽消防署	防 火 対 象 物	1	24	24	36	13	22	13	20	15	5	6	9	188
	危険物施設等					1	6		8					15
	小 計	1	24	24	36	14	28	13	28	15	5	6	9	203
合 計		16	102	165	119	54	73	98	132	87	61	52	75	1,034

各種団体

(1) 館林地区防火安全協会（平成29年4月1日設立）

地 区 名	会 員 事 業 所 数
館 林 地 区	259
板 倉 地 区	51
明 和 地 区	58
千 代 田 地 区	66
邑 楽 地 区	103
合 計	537

※主な事業

- ・危険物取扱者試験に係る講習会
- ・県外研修視察の実施
- ・各地区の防災訓練等の参加協力
- ・危険物保安管理研修会の実施
- ・危険物安全週間への協力
- ・通報消火競技大会

（春の火災予防運動中、毎年）

平成29年4月より、館林地区危険物安全協会（昭和35年2月8日設立）並びに館林地区防火対象物連絡協議会（昭和60年5月18日設立）が合併されたことにより、新たに館林地区防火安全協会が発足されました。

(2) 女性防火クラブ

地 区 名	名 称	ク ラ ブ 数	会（隊）員数
館 林 市	館 林 市 女 性 防 火 ク ラ ブ 連 合 会	30	145
板 倉 町	板 倉 町 女 性 防 火 ク ラ ブ 連 合 会	15	45
明 和 町	明 和 町 女 性 消 防 隊	16	191
千 代 田 町	千 代 田 町 女 性 消 防 協 力 会	16	128
邑 楽 町	邑 楽 町 女 性 消 防 隊	31	409
合 計		108	918

(3) 幼年消防クラブ

地 区 名	ク ラ ブ 数	隊 員 数
館 林 地 区	19	1,644
板 倉 地 区	3	206
明 和 地 区	1	219
千 代 田 地 区	2	223
邑 楽 地 区	6	590
合 計	31	2,882

- ・対象 - 幼稚園、保育園及び認定こども園児。
- ・事業として毎年1地区を選出して（輪番制）、幼年消防クラブ大会を実施。

課 防 警

消防車両配置一覧表

令和8年4月1日現在

所属	名 称	種 別	車 両 型 式	車 両 番 号	ポンプ 性 能	購 入 年 月	備 考
消防本部	指揮監察車	普 指揮監察車	日産 セレナ	群馬544そ101		R4.8	リース
	事務連絡車	普 普通連絡車	日産 ラティオ	群馬537り30		H27.10	防火対象物連絡協議会寄贈
	事務連絡車	普 普通連絡車	トヨタ カローラ	群馬503す8247		H29.3	危険物安全協会寄贈
	本部ワゴン	普 普通連絡車	日産 セレナ	群馬502み7178		H25.11	
	館林本部2	緊 警防車	トヨタ ハイエース	群馬800せ6904		H28.2	
	館林本部4	緊 査察広報車	日産 キューブ	群馬800す6552		H17.10	防火対象物連絡協議会寄贈
	館林資材1	緊 資材輸送車	日野 デュトロ	群馬800そ1883		R5.3	パワーゲート付
	館林本部司令1	緊 指揮統制車	トヨタ ハイエース	群馬800そ1281		H23.1	
	館林火災調査1	緊 火災調査車	トヨタ ハイエース	群馬800せ5937		H26.10	
	館林水防1	緊 水防資材運搬車	日野 デュトロ	群馬800せ2871		H23.3	クレーン・パワーゲート付
	館林本部1	緊 査察広報車	ダイハツ ハイゼット	群馬80あ1898		H14.8	
	館林人員輸送1	普 人員輸送車	日野 リエッセ	群馬200さ969		H16.5	
	フォークリフト	普 フォークリフト	トヨタ	館林市ろ1747		H22.2	
	合 計	12台（フォークリフトを除く）					
館林消防署	館林指揮1	緊 署指揮隊車	トヨタ ハイエース	群馬800せ5956		H26.11	
	館林1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-Ⅱ型	群馬800つ210	A2級	R8.3	水2,000ℓ
	館林2	緊 普通ポンプ車	三菱 CD-Ⅰ型	群馬800さ5120	A2級	H12.12	
	館林化学1	緊 化学消防車	いすず 化-Ⅱ型	群馬830せ211	A2級	H28.2	薬剤 500ℓ（災害対応）
	館林水槽1	緊 小型動力ポンプ付水槽車	いすず ギガ Ⅱ型	群馬800は621	B2級	H15.11	水10,000ℓ
	館林梯子1	緊 梯子付消防車	日野 30m級	群馬830ら119		H17.3	水路管付先端屈折
	館林救助1	緊 救助工作車	日野 工作車Ⅱ型	群馬830せ902		H23.2	
	救急館林1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬800せ6661		H27.11	
	救急館林2	緊 高規格救急車	日産 パラメディック	群馬830さ9909		R8.1	
	水防車（軽）	普 水防資材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬480た9280		H27.2	
	救助艇1号	普 救助艇（ウレタンボート）	AU400	230-58152		R5.3	定員6人
	救助艇4号	普 救助艇（ゴムボート）	SEI-400	230-48511		H17.7	定員6人
	トレーラー	普 船舶積載用トレーラー	QINGDAO	群馬800る2321		R5.3	
	合 計	11台（救助艇を除く）					
北分署	館林北1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-Ⅱ型	群馬800は1637	A2級	H25.1	水2,000ℓ
	館林10	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-Ⅱ型	群馬800は259	A2級	H13.2	水2,000ℓ
	救急館林北1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830す9902		R5.10	
	水防車（軽）	普 水防資材運搬車	三菱 ミニキャブ	群馬41よ4185		H15.2	
	合 計	4台					

所属	名 称	種 別	車 両 型 式	車 両 番 号	ポンプ 性 能	購 入 年 月	備 考
西 分 署	館林西 1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-II型	群馬831て55	A2級	R3.3	水2,000ℓ
	救急館林西 1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830せ9903		R4.10	
	館林西広報 1	緊 査察広報車	ダイハツ ハイゼット	群馬80あ1830		H14.3	
	水防車（軽）	普 水防資材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬480す7290		H24.4	
	救助艇7号	普 救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H29.6	定員6人
	合 計	4台（救助艇を除く）					
板 倉 消 防 署	板倉 1	緊 水槽付ポンプ車	いすず 水-II	群馬830ほ51	A2級	H29.3	水2,000ℓ
	板倉 2	緊 普通ポンプ車	日野 CD-I 型	群馬800せ3771	A2級	H24.3	水700ℓ
	板倉重機 1	緊 重機搬送車	日野 レンジャー	群馬800は1654		H25.3	総務省消防庁無償貸与
	板倉重機	緊 重機（3t 級）	コマツ PC30MR-3			H25.3	総務省消防庁無償貸与
	救急板倉 1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830そ9905		R1.10	
	板倉広報 1	緊 査察広報車	日産 サニー	群馬800さ7610		H13.9	
	水防車（軽）	普 水防資材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬41め1611		H12.12	
	救助艇 2号	普 救助艇（ウレタンボート）	AU450W	230-57981		R4.8	定員9人
	救助艇 8号	普 救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H29.6	定員6人
	合 計	6台（重機・救助艇を除く）					
明 和 消 防 署	明和 1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-II型	群馬800は1583	A2級	H24.3	水2,000ℓ
	救急明和 1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830せ9906		R3.11	
	明和広報 1	緊 査察広報車	日産 セレナ	群馬800せ4178		H24.9	
	水防車（軽）	普 水防資材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬480す4790		H24.2	
	救助艇 5号	普 救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H28.6	定員6人
	合 計	4台（救助艇を除く）					
千 代 田 消 防 署	千代田 1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-II型	群馬800は1433	A2級	H22.11	水2,000ℓ
	救急千代田 1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830す9907		R2.12	
	千代田広報 1	緊 査察広報車	日産 セレナ	群馬800せ3393		H23.10	
	水防車（軽）	普 水防資材運搬車	三菱 ミニキャブ	群馬41よ4186		H15.2	
	救助艇 3号	普 救助艇（ゴムボート）	F R B-380	230-57181		H2.10	定員6人
	牽引車	緊 その他（連絡車）	三菱 パジェロ	群馬800せ2860		H23.2	
	トレーラー	普 船舶積載用トレーラー	QINGDAO	群馬800る2117		R2.10	
	合 計	6台（救助艇を除く）					
邑 楽 消 防 署	邑楽 1	緊 水槽付ポンプ車	日野 水-II型	群馬830な54	A2級	H31.3	水2,000ℓ
	邑楽 2	緊 救助資器材搭載水槽付ポンプ車	いすず 水I-B型	群馬800は1838	A2級	H27.2	水1,500ℓ
	救急邑楽 1	緊 高規格救急車	トヨタ ハイメディック	群馬830さ9908		H29.9	
	邑楽広報 1	緊 査察広報車	トヨタ アリオン	群馬800さ9851		H14.8	
	水防車（軽）	普 水防資器材運搬車	ダイハツ ハイゼット	群馬41も9716		H13.11	
	救助艇 6号	普 救助艇（ゴムボート）	LRB-330			H28.6	定員6人
	合 計	5台（救助艇を除く）					
		52台（フォークリフト・救助艇・重機を除く）					

救 助 隊

発 足 昭和49年12月1日

目 的 水上及び陸上の災害に対処し、人命の被害を軽減するため救難救助の基礎訓練を重ね、技術錬磨、救助訓練を通じて、規律、協同の精神を養い、救難救助の万全を図ること。

特 別 救 助 隊

発 足 平成25年7月1日

当組合では平成25年7月に、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年自治省令第22号）第4条の基準に従い、館林消防署に配置されました。

救助器具並びに当該救助器具を積載することができる救助工作車1台、30m級はしご車等を備え隊員が日々訓練に励んでいます。

救助隊の任務

- （１）人命検索及び救助活動
- （２）消防破壊活動
- （３）火災防御活動
- （４）災害の防御活動
- （５）その他消防長又は消防署長等の命ずる防災活動

特別救助隊編成表

令和8年4月1日現在

区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消 防 士	合 計
隊 長		2				2
副 隊 長		2				2
隊 員		8				8
合 計		12				12

救助隊資機材一覧

救助器具	名 称	数量	名 称	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	3	三連梯子	2
	ワイヤー梯子	1	空気式救助マット	1
	救命索発射銃	1	サバイバースリング	1
	救命用縛帯	10		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3	油圧スプレッダー	
	可搬ウィンチ	2	マンホール救助器具	1
	大型油圧スプレッダー	2	マット型空気ジャッキ	2
	救助用支柱器具	2		
切断用器具	油圧切断機	2	エンジンカッター	2
	ガス溶断器	1	チェーンソー	3
	鉄線カッター	2	空気鋸	2
	空気切断機	2	コンクリート・鉄筋切断用 チェーンソー	1
	大型油圧切断機	2		
破壊用器具	万能斧	4	ハンマー	3
	削岩機	1	携帯用コンクリート破壊器具	2
	ハンマドリル	3		
検知・測定用器具	生物剤検知器	1	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	4	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	14		
呼吸保護用用具	空気呼吸器	12	防塵マスク	11
	酸素呼吸器	5	送排風機	1
隊員保護用器具	耐電手袋	1	耐電衣	1
	耐電ズボン	1	耐電長靴	1
	携帯警報器	8	防毒マスク	22
	陽圧式化学防護服	7	化学防護服 (陽圧式化学防護服を除く)	92
	放射線防護服	2		
除染用器具	除染シャワー	1	除染剤散布器	4
水難救助用器具	潜水器具	8	救命胴衣	53
	水中投光器	5	救命浮環	15
	浮標	14	救命ボート	2
	船外機	2		
山岳救助用器具	登山器具	2	バスケット型担架	3
検索用器具	簡易画像探索機	2	熱画像直視装置	1
その他の救助用器具	発電機	3	携帯投光器	2
	携帯拡声器	3	携帯無線機	6
	応急処置用セット	2	車両移動器具	1
	緩降機	2	ロープ登降機	2
	救助用降下機	6		

令和7年中の救助出場状況

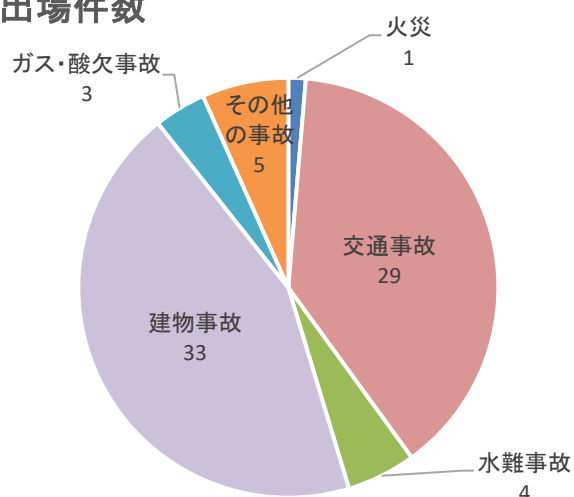
事故種別統計

令和7年1月1日～令和7年12月31日

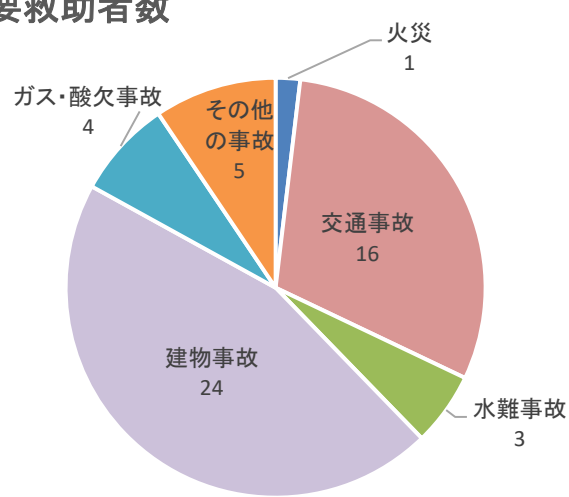
	合計	事故種別								
		火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	爆発事故	その他の事故
出場件数	78	1	29	4		3	33	3		5
活動有無	53	1	15	4		1	25	2		5
活動有無比率	68%	100%	52%	100%	0%	33%	76%	67%	0%	100%

要救助者数	54	1	16	3		1	24	4		5
-------	----	---	----	---	--	---	----	---	--	---

出場件数



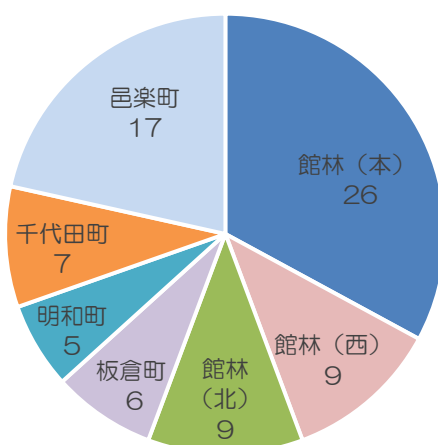
要救助者数



管轄別統計

	合計	館林(本)	館林(西)	館林(北)	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町
出場件数	79	26	9	9	6	5	7	17

管内別出動件数



指令救急課

指令救急課

高機能消防指令システム (株) 富士通ゼネラル HA-524ODMA

名 称	回線容量	適 用
119番受付回線	20以上	[実装14] 固定電話・携帯電話・IP電話等(8) 転送(2) 衛星(2) 緊急通報システム用(2)
指 令 回 線	9以上	[実装9] 消防署・分署(7) 館林第二浄水場(1) 館林ガス(1)
局 線	8以上	[実装3]
専 用 回 線	14	[実装3] 公立館林厚生病院・NEXCO・FAX転送
無 線 回 線	6以上	[実装6] (デジタル) 活動波1、2・主運用波・統制波1、2、3

主な周辺装置

自動出動指定装置

119番の通報内容を入力することで、地図等検索装置と連動し、出動隊の自動編成や署所への出場指令、災害事案の管理等を行う装置です。

地図等検索装置

災害発生現場の位置を的確・迅速に確認するための検索を行い、指令装置及び自動出動指定装置と連動して、災害地点を即時に表示する装置です。また、Googleのストリートビューと連動し、通報現場付近の建物や道路状況を確認することも可能です。

遠隔制御装置(無線統制台)

館林地区消防組合で使用している無線デジタル波の(全国統制波1・2・3波、主運用波、活動波1・2波)の基地局6波の送信・受信を行う装置です。

車両運用端末装置(AVM装置：Ⅲ型)

緊急車両に搭載した動態表示装置より4G回線を利用して、各車両の「出動」「現場到着」等の動態や位置情報を監視、記録する装置で、災害地点までのルート案内といった、ナビゲーションシステムも備わっています。

順次指令装置

火災等の災害発生時に消防幹部、非番職員に対し、電話回線を利用して災害情報を伝達する装置で、一度に5回線(職員5名)の招集が可能です。

災害状況自動案内装置

災害状況自動案内装置は、指令台からの音声データを活用し、災害発生時に住民からの電話による問い合わせを12回線まで自動で案内する装置です。

多言語通話機能

外国籍の119番通報者に対し、対応する言語のオペレーターへ電話をつなぎ、3者通話で通報内容を通訳してもらうシステムで、25か国語に対応しています。

Live119映像通報システム

スマートフォンからの119番通報者に対して、映像を伝送するためのURLをショートメールで送信し、通報現場や傷病者の状態を撮影していただき、映像で通報現場の状況を確認することのできるシステムです。また、スマートフォン画面に応急手当の動画(心肺蘇生法や止血等)を送信して、通報者への口頭指導に役立てることも可能です。

119番等受付件数

(令和7年中)

受付区分	各種事案												
	火災	救急 ^{※1}	救助	その他出動 ^{※2}	重複 ^{※3}	誤報 ^{※4}	いたすら	通報訓練	転送 ^{※5}	テスト	不明	問合せ	合計
119（固定電話）	6	912	2	11	35	74	7	245	1	299	36	61	1,689
119（IP電話）	7	1,738	8	14	35	71	1	366	3	38	4	77	2,362
119（携帯電話）	43	3,520	56	90	204	443	5	93	182	83	61	316	5,096
一般電話（外線）	6	495	8	117	5	39				44	3	6	723
消防無線		21	1	13									35
署への駆けつけ		21											21
NET119 ^{※※1}													
緊急通報システム ^{※※2}		154	1		11	55				213	9	7	450
その他 ^{※※3}		81	4	3	11	1				9		1	110
合計	62	6,942	80	248	301	683	13	704	186	686	113	468	10,486

※1 1件の通報で2台の救急車が出動する場合もあるため、救急件数と同数ではありません。

※2 その他出動は、火災、救急、救助に該当しない緊急出動。

※3 重複は、火災や事故等で複数通報のあったもの。（通報者2人目以降は重複に計上）

※4 誤報は、まちがい電話や携帯電話の誤作動による通報を含む。

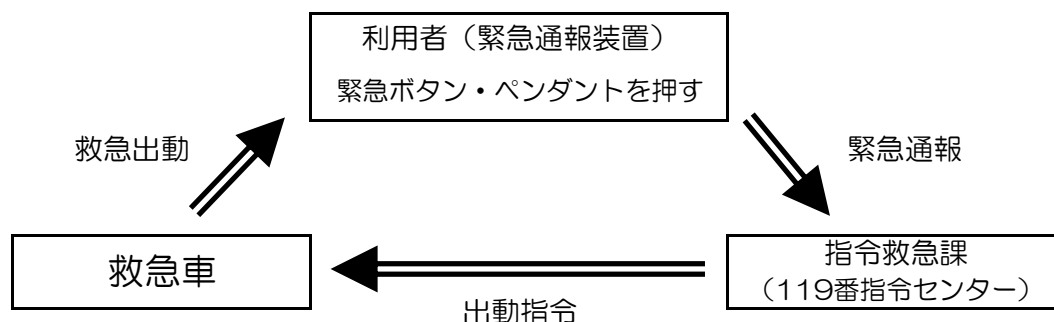
※5 転送は、管轄外へ119番通報を転送したもの。

※※1 システムに事前登録した聴覚・発話障がい者によるスマートフォン等からのチャット形式による119番通報。

※※2 下記システム概要参照

※※3 受付区分のその他は、専用線（消防-病院直通）、ヘルプネット（自動車事故によるオペレーター経由）、NEXCO東日本、自己覚知等による通報件数の総数。

緊急通報システム概要



・緊急通報システムとは、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦のみで生活している世帯の自宅に、市・町と連携して設置した装置から、装置に付いた緊急ボタンや装置から離れた場所（遮蔽物なしで半径50m以内）でも、首掛け式のペンダント型緊急ボタンを押すことで119番通報されるシステムです。本人が間違えて押してしまったり、ネコなどの動物がボタンを踏んで119番通報されてしまうこともあるため、通信指令員の呼びかけに応答がない場合は、必ず安否確認で救急出動しています。

（このため結果的に誤報という場合もあります）

館林地区消防組合デジタル無線局一覧

基地局無線装置

所属	局別	呼出名称	メーカー	型式	出力	設置年
通信指令課	基地局無線装置	たてばやししょうぼう	富士通ゼネラル	5K80 G1D G1E	活動波1 10W	R6.3 (H26から更新)
					活動波2 10W	
					主運用波 10W	
					統制波1 10W	
					統制波2 10W	
					統制波3 10W	

消防本部

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力(W)	配備年
館林本部1号車	たてばやしほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部2号車	たてばやしほんぶ 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部4号車	たてばやしほんぶ 4	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林資材搬送車	たてばやししざい 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林火災調査1号車	たてばやしかさいちょうさ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部司令1号車	たてばやしほんぶしれい 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林水防1号車	たてばやしすいぼう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林人員輸送1号車	たてばやしじんいんゆそう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやしほんぶ 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 201	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 202	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 203	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 204	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 205	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 206	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 207	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 208	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしほんぶ 209	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやしほんぶしょかつ 101	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	たてばやしほんぶしょかつ 102	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	たてばやしほんぶしょかつ 103	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	たてばやしほんぶしょかつ 104	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	たてばやしほんぶしょかつ 105	アルインコ	DJ-FU50A	1	R3.12
//	たてばやしほんぶしょかつ 106	アルインコ	DJ-FU50A	1	R8.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 107	アルインコ	DJ-FU50A	1	R8.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 108	アルインコ	DJ-FU50A	1	R8.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 111	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 112	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 113	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやしほんぶしょかつ 114	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	車載型移動局 8	携帯型移動局 13	署活系携帯型移動局 14		

館林消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
館林署隊本部 1	たてばやししょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
館林指揮 1号車	たてばやししき 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林 1号車	たてばやし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林 2号車	たてばやし 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林救助 1号車	たてばやしきゅうじょ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林化学 1号車	たてばやしかがく 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林西水槽 1号車	たてばやしにし すいそう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林梯子 1号車	たてばやしはしご 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林 10号車	たてばやし 10	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林広報 1号車	たてばやしこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林 1号車	きゅうきゅうたてばやし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林 2号車	きゅうきゅうたてばやし 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
可搬型移動局	たてばやししき 101	富士通ゼネラル	CM-2010DM	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやし 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 105	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 106	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 107	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 108	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 109	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 110	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやし 111	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやししよかつ 1	アルインコ	XE-1103	1	H29.12
//	たてばやししよかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 111	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 112	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 113	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 114	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 115	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 116	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 117	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 118	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 119	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 120	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 121	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 122	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 123	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H27.12
//	たてばやししよかつ 124	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 125	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 126	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 127	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししよかつ 128	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 11	可搬型移動局 1	携帯型移動局 11	署活系携帯型移動局 29

西分署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
館林西署隊本部 1	たてばやしにししょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
館林西 1 号車	たてばやしにし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林西 1 号車	きゅうきゅうたてばやしにし 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林西広報 1 号車	たてばやしにし こうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやしにし 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしにし 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしにし 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしにし 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやししょかつ 201	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 202	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 203	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 204	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 205	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 206	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 3	携帯型移動局 4	署活系携帯型移動局 6	

北分署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
館林北署隊本部 1	たてばやしきたししょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
館林北 1 号車	たてばやしきた 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急館林北 1 号	きゅうきゅうたてばやしきた 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	たてばやしきた 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしきた 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	たてばやしきた 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	たてばやししょかつ 301	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 302	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 303	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	たてばやししょかつ 304	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 2	携帯型移動局 3	署活系携帯型移動局 4	

板倉消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
板倉署隊本部 1	いたくらしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
板倉 1 号車	いたくら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
板倉 2 号車	いたくら 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
板倉重機 1 号車	いたくらじゅうき 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急板倉 1 号車	きゅうきゅういたくら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
板倉広報 1 号車	いたくらくこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	いたくら 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	いたくら 105	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	いたくらしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	いたくらしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R1.11
//	いたくらしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R1.11
//	いたくらしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R1.11
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 5	携帯型移動局 5	署活系携帯型移動局 10	

明和消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
明和署隊本部 1	めいわしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
明和 1 号車	めいわ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急明和 1 号車	きゅうきゅうめいわ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	R3.12
明和広報 1 号車	めいわこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	めいわ 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	めいわ 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	めいわ 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	めいわしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	めいわしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 3	携帯型移動局 3	署活系携帯型移動局 10	

千代田消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
千代田署隊本部 1	ちよだしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
千代田 1 号車	ちよだ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急千代田 1 号車	きゅうきゅうちよだ 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
千代田広報 1 号車	ちよだこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
館林本部 3 号車	たてばやしほんぶ 3	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	ちよだ 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	ちよだ 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	ちよだ 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	ちよだしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	ちよだしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	ちよだしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
//	ちよだしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	R3.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 4	携帯型移動局 3	署活系携帯型移動局 10	

邑楽消防署

局別・車別	呼出名称	メーカー	機器名	出力 (W)	配備年
邑楽署隊本部 1	おうらしょたいほんぶ 1	富士通ゼネラル	CM-2010DF	5	H26.3
邑楽 1 号車	おうら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
邑楽 2 号車	おうら 2	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
救急邑楽 1 号車	きゅうきゅうおうら 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
邑楽広報 1 号車	おうらこうほう 1	富士通ゼネラル	CM-2010D	5	H26.3
携帯型移動局	おうら 101	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 102	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 103	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 104	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
//	おうら 105	富士通ゼネラル	CP-2010P	5	H26.3
署活系携帯型移動局	おうらしょかつ 101	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 102	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 103	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 104	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 105	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 106	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 107	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 108	富士通ゼネラル	CP-4069TH	1	H26.3
//	おうらしょかつ 109	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H31.3
//	おうらしょかつ 110	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H31.3
//	おうらしょかつ 111	富士通ゼネラル	CP-4070TH	1	H31.3
小 計	卓上型固定移動局 1	車載型移動局 4	携帯型移動局 5	署活系携帯型移動局 11	

気象関係

月別天候状況調

(令和7年中)

区分 月別日数	晴	曇	雨	雪	降雨の あった日
1月	24	6	1		1
2月	26	1	1		1
3月	16	10	5		5
4月	15	10	5		5
5月	12	13	6		6
6月	16	10	4		4
7月	19	11	1		1
8月	19	8	4		4
9月	13	15	2		2
10月	10	18	3		3
11月	22	6	2		2
12月	23	6	2		2
合計	215	114	36		36

館林地区消防組合午前9時観測値
 (午前9時時点の天候日数のため、雨の日数と降雨のあった日数は異なる)

風速・温度・湿度・降水量月別平均調

(令和7年中)

区分 月別平均	風速 (m)	温度 (℃)	湿度 (%)	総降水量 (mm)
1月	1.3	5.2	54.1	16.0
2月	1.7	5.1	45.4	3.5
3月	1.4	9.6	62.4	98.0
4月	1.7	15.0	66.8	118.5
5月	1.5	18.8	73.7	180.0
6月	1.3	24.9	76.0	93.0
7月	1.7	28.8	75.8	118.0
8月	1.4	29.6	74.5	37.0
9月	1.3	25.9	77.4	128.0
10月	1.1	18.1	77.7	75.5
11月	1.1	11.6	64.1	5.0
12月	1.1	6.7	61.2	25.5
館林地区消防組合午前9時観測値	総降水量			898.0

気象情報発表件数

(令和7年中)

注意報					
風雪	強風	大雨	洪水	大雪	雷
4	38	18	11	7	82
乾燥	濃霧	霜	低温	着雪	着氷
61	29	24	9	4	
警報					
暴風	暴風雪	大雨	洪水	大雪	
		3	1		

(注意報・警報ともに、館林市に発表された件数)

救急救命士

1 救急業務

救急活動は、急病人や事故等による怪我人に対して応急処置を実施し、適切な医療機関へ迅速に搬送することにより、救命率の向上と症状の悪化防止を図ることを主な目的としており、高規格救急自動車8台（うち予備車1台）を配備し、多様化する住民のニーズに対応しております。

2 救急救命士

令和8年4月1日現在、救急救命士の有資格者は64名（うち女性4名）となっております。

また、救急救命士が医師の具体的な指示を受けて行う救急救命処置（特定行為）も順次拡大され、救急救命士の資格を有する救急隊員のうち、気管挿管を実施できる認定者26名（そのうちビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用できる認定者18名）、薬剤投与（アドレナリン）を実施できる認定者60名、心肺機能停止前の重症傷病者に対する静脈路確保及び輸液を実施できる認定者56名、血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を実施できる認定者56名となっております。

さらに、救急救命士の指導者として教育を行う、指導的立場の救急救命士（指導救命士）は8名となっております、救急活動の質の向上に取り組んでおります。

救急救命士編成表

消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
4	4	27	13	11	5	64

令和8年4月1日現在

平成6年から令和7年までの応急手当講習 及び普通救命講習等指導結果集計表

項目 署別	人 口	応急手当 講習回数	受講者数	普通救命Ⅰ（3時間講習）		普通救命Ⅱ（4時間講習）	
				普通救命Ⅰ 講習回数	受講者数	普通救命Ⅱ 講習回数	受講者数
館林消防署	73,091	1,320	49,769	1,066	15,951	98	2,145
板倉消防署	13,320	272	11,109	310	4,909	2	52
明和消防署	10,648	150	4,747	283	4,902	22	443
千代田消防署	10,752	157	9,514	204	3,841	107	2,536
邑楽消防署	25,386	353	8,395	260	5,484	18	272
合 計	133,197	2,252	83,534	2,123	35,087	247	5,448

人口は令和8年1月1日現在

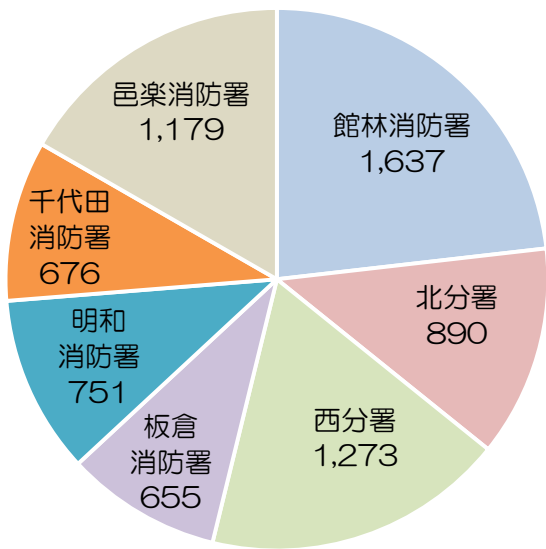
令和7年中の救急出場状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

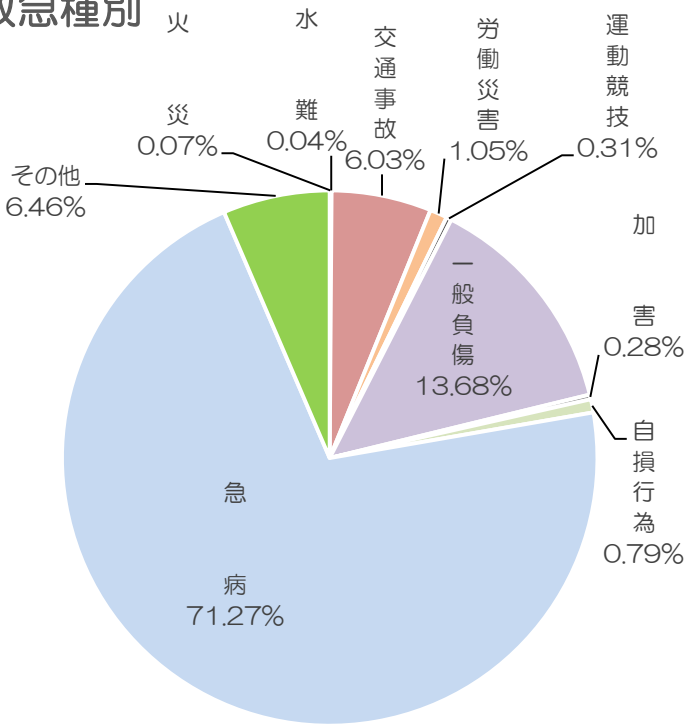
区 分		合 計	救 急 事 故 種 別														不 搬 送
			火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
													転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	そ の 他	
組 合	出場件数	7,061	5	2	3	426	74	22	966	20	56	5,031	387			69	###
	搬送人員	5,983	4			357	71	21	825	12	31	4,273	387			2	
館 林 消防署	出場件数	1,637	3	1	1	100	11	3	210	3	19	1,148	124			14	258
	搬送人員	1,387	2			83	10	3	180	2	10	972	124			1	
北分署	出場件数	890			1	55	8	5	117	4	5	629	57			9	146
	搬送人員	756				48	8	5	104	3	4	526	57			1	
西分署	出場件数	1,273	1	1		74	8	3	165	6	4	908	92			11	259
	搬送人員	1,015	1			48	8	3	131	2	2	728	92				
板 倉 消防署	出場件数	655	1			37	8	1	108	3	3	486				8	99
	搬送人員	559	1			34	8	1	93	2	1	419					
明 和 消防署	出場件数	751				42	11		94		12	542	44			6	116
	搬送人員	645				43	10		79		6	463	44				
千代田 消防署	出場件数	676			1	46	16	7	109	1	7	471	11			7	77
	搬送人員	605				40	15	6	95		4	434	11				
邑 楽 消防署	出場件数	1,179				72	12	3	163	3	6	847	59			14	168
	搬送人員	1,016				61	12	3	143	3	4	731	59				

※空欄は「0」とする

救急件数



救急種別



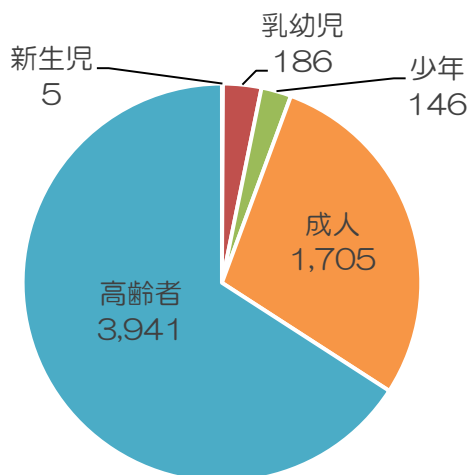
事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

令和7年1月1日～令和7年12月31日

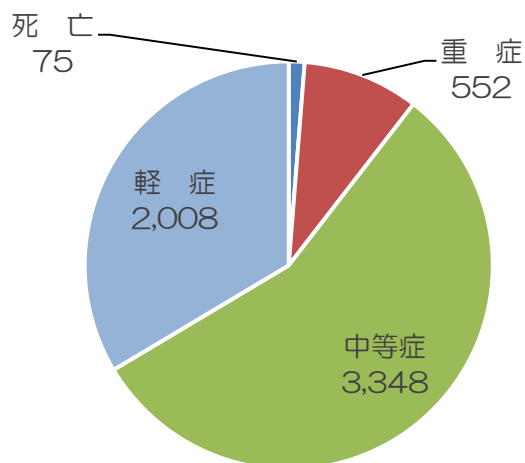
年齢区分	事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	死亡												
	重症											1	1
	中等症										1	2	3
	軽症											1	1
	その他												
	計										1	4	5
乳幼児	死亡												
	重症										2		2
	中等症				2			9			38	4	53
	軽症				12			31	1		87		131
	その他												
	計				14			40	1		127	4	186
少年	死亡												
	重症				2					1	3		6
	中等症				5		3	9		1	32	1	51
	軽症				19		6	19		1	44		89
	その他												
	計				26		9	28		3	79	1	146
成人	死亡				2	1				1	7		11
	重症				5	4		6		6	82	32	135
	中等症	1			62	34	1	54	1	10	600	77	840
	軽症				150	22	10	77	4	7	442	7	719
	その他												
	計	1			219	61	11	137	5	24	1,131	116	1,705
高齢者	死亡	1			1			3			59		64
	重症				5	1		29		3	315	55	408
	中等症	1			39	4		340	4		1,823	190	2,401
	軽症	1			53	5	1	248	2	1	738	19	1,068
	その他												
	計	3			98	10	1	620	6	4	2,935	264	3,941
合計	死亡	1			3	1		3		1	66		75
	重症				12	5		35		10	402	88	552
	中等症	2			108	38	4	412	5	11	2,494	274	3,348
	軽症	1			234	27	17	375	7	9	1,311	27	2,008
	その他												
	計	4			357	71	21	825	12	31	4,273	389	5,983

※空欄は「0」とする

年齢区分別搬送人員



傷病程度別搬送人員

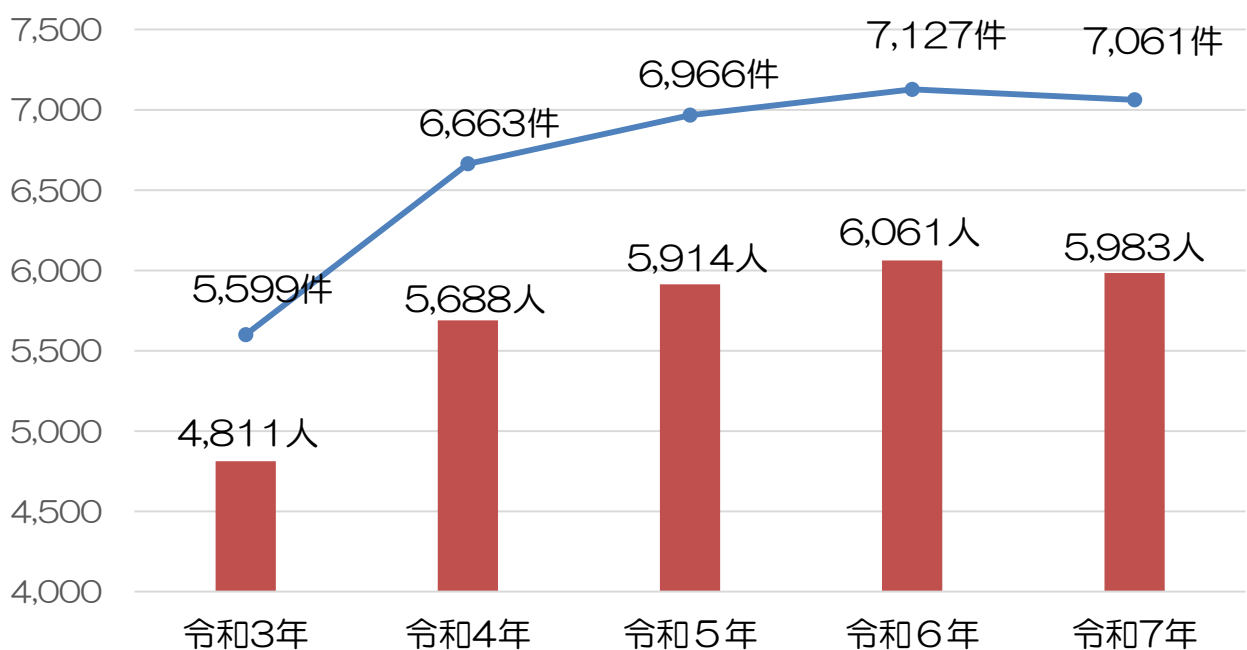


救急出場（搬送人員）推移

令和7年12月31日現在

署 別		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
館 林 消 防 署	出場件数	1,285件	1,507件	1,593件	1,691件	1,637件
	搬送人員	1,141人	1,325人	1,377人	1,444人	1,387人
北 分 署	出場件数	734件	926件	910件	965件	890件
	搬送人員	640人	819人	789人	814人	756人
西 分 署	出場件数	985件	1,149件	1,247件	1,283件	1,273件
	搬送人員	852人	972人	1,020人	1,045人	1,015人
板 倉 消 防 署	出場件数	496件	623件	634件	624件	655件
	搬送人員	426人	531人	542人	548人	559人
明 和 消 防 署	出場件数	593件	697件	744件	715件	751件
	搬送人員	525人	603人	657人	629人	645人
千代田消防署	出場件数	542件	634件	685件	689件	676件
	搬送人員	453人	544人	590人	624人	605人
邑 楽 消 防 署	出場件数	964件	1,127件	1,153件	1,160件	1,179件
	搬送人員	774人	894人	939人	957人	1,016人
合 計	出場件数	5,599件	6,663件	6,966件	7,127件	7,061件
	搬送人員	4,811人	5,688人	5,914人	6,061人	5,983人

組合出場件数及び搬送人員





消防音楽隊

消防音楽隊

発 足 昭和45年5月15日

目 的 音楽を通して防火・防災思想の普及、災害に対する備えと消防志気の高揚に資し、併せて住民との接触を密にして融和を図り、もって消防の使命達成に寄与すること。

音 楽 隊 編 成 表

令和8年4月1日現在

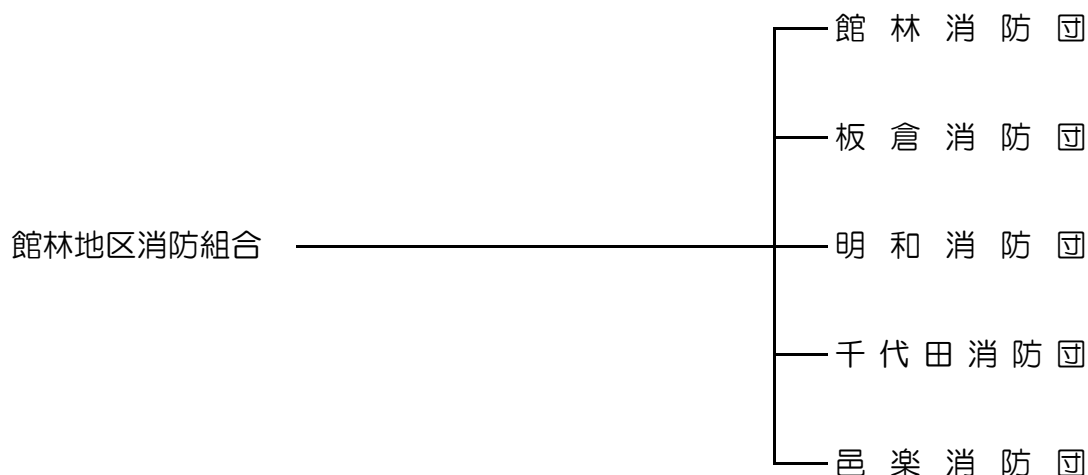
区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消 防 士	合 計
隊 長		1				1
副 隊 長		2				2
隊 員		4	9	6	5	24
計		7	9	6	5	27

指 揮 者		1				1
トランペット		1	1	2	1	5
トロンボーン		1	1		1	3
アルトサックス		1	1	1	1	4
テナーサックス		1		1		2
フルート		1	2			3
スーザホン				2		2
クラリネット		1	3			4
パーカッション			1		1	2
Eベース					1	1
計		7	9	6	5	27

- ・消防音楽隊は27名の消防職員で構成され、組合管内の各行事等に出場し、地域住民に消防のPRに努めています。

消 防 団

消防団組織図



※ 組合消防団長は各消防団長の協議により選出

本部の名称及び位置

名	称	位	置
館林地区消防組合	館林消防団本部	館林市上赤生田町	4050番地の1
館林地区消防組合	板倉消防団本部	板倉町大字板倉	3427番地の5
館林地区消防組合	明和消防団本部	明和町南大島	265番地1
館林地区消防組合	千代田消防団本部	千代田町大字萱野	1218番地の1
館林地区消防組合	邑楽消防団本部	邑楽町大字中野	2647番地1

団員報酬等

令和8年4月1日現在

階級別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員	機 能 別
年額報酬	289,000	209,000	163,000	109,000	70,000	55,000	20,000

○組合消防団長については、年額15,000円を加算。

○出勤報酬として、1 出勤につき2,500円／人を支給。

また、災害出勤等で長時間にわたる場合は、1 日あたり8,000円を支給。

消防団分団区域一覧

館林消防団

分 団 名	班 名	区 域
第 1 分 団		本町二丁目西・本町二丁目東・本町三丁目・本町四丁目 千代田町・富士見町
第 2 分 団		仲町南・仲町北・西本町南・西本町北・代官町・大街道一丁目 大街道二丁目・大街道三丁目・栄町
第 3 分 団		本町一丁目・台宿町・大手町・朝日町南・朝日町北・尾曳町 加法師町・広内町・城町南・城町北・東広内町・若宮町 瀬戸谷町・坂下町
第 4 分 団	第 1 班	当郷町・田谷町・四ツ谷町・千塚町・細内町
	第 2 班	大島町
第 5 分 団	第 1 班	花山町・羽附町・羽附旭町・楠町
	第 2 班	赤生田町・赤生田本町・上赤生田町
第 6 分 団	第 1 班	新宿一丁目・新宿二丁目・緑町一丁目・緑町二丁目 松原一丁目・松原二丁目・松原三丁目・つつじ町
	第 2 班	美園町・南美園町・東美園町・西美園町・堀工町・富士原町 小桑原町・赤土町のうち旧富士北・分福町
	第 3 班	青柳町・近藤町・苗木町・諏訪町
第 7 分 団	第 1 班	上三林町・下三林町・入ヶ谷町
	第 2 班	野辺町
第 8 分 団	第 1 班	赤土町・大谷町・成島町・北成島町・新栄町 松沼町（赤土町のうち旧富士北を除く。）
	第 2 班	西高根町・高根町
第 9 分 団	第 1 班	木戸町
	第 2 班	日向町
第 10 分 団	第 1 班	足次町・岡野町・大新田町
	第 2 班	下早川田町・上早川田町・傍示塚町

板倉消防団

分 団 名	班 名	区 域
第 1 分 団		岩田・靱谷・内蔵新田
第 2 分 団		板倉・大蔵
第 3 分 団		飯野・大高嶋・下五箇
第 4 分 団		海老瀬・朝日野一丁目・二丁目・三丁目・四丁目 泉野一丁目・二丁目・三丁目・四丁目
第 5 分 団		大曲・大荷場・細谷・離・除川・西岡・西岡新田

明和消防団

分 団 名	班 名	区 域
第 1 分 団	第 1 班	斗合田・下江黒・上江黒
	第 2 班	千津井・江口・田島
第 2 分 団	第 1 班	南大島
	第 2 班	新里・中谷・梅原
第 3 分 団	第 1 班	川俣・須賀・大輪
	第 2 班	入ヶ谷・矢島・大佐貫

千代田消防団

分 団 名	班 名	区 域
第 1 分 団	第 1 班	赤岩（1区、2区、3区（熊野、五反田））・赤岩西
	第 2 班	赤岩（3区（檜内）、11区）
	第 3 班	福島
	第 4 班	舞木（14区）・新福寺
	第 5 班	舞木（15区、16区）・舞木東
第 2 分 団	第 1 班	瀬戸井・上五箇
	第 2 班	上中森・下中森・昭和
	第 3 班	萱野・木崎・鍋谷

邑楽消防団

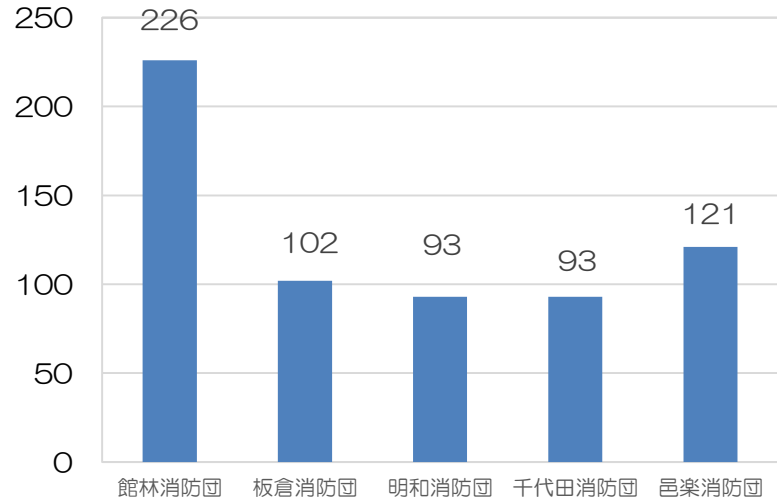
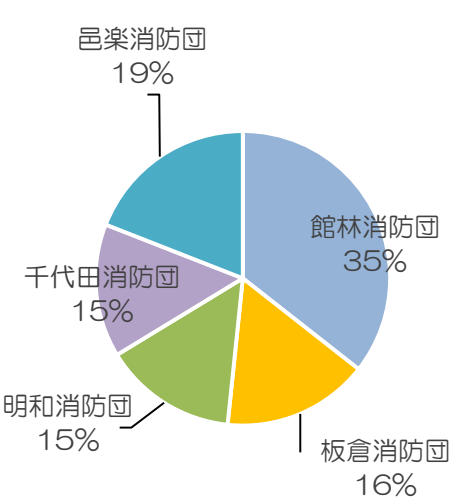
分 団 名	班 名	区 域
第 1 分 団	第 1 班	横町化楽・上下西宿・光善寺・新中野・明野
	第 2 班	下中野・前谷東原・前・瀬戸宿、千原田向地・鶉上・鶉下・鶉新田
	第 3 班	前原・天王元宿・十三坊塚・大根村琵琶首・谷中蛭沼
第 2 分 団	第 1 班	藤川
	第 2 班	一本木・渋沼
	第 3 班	秋妻
	第 4 班	石打・住谷崎
第 3 分 団	第 1 班	西ノ根宮内中島・馬場大林・上下寺中
	第 2 班	坪谷
	第 3 班	水立大黒・十三軒・十軒
	第 4 班	店高原・本郷江原
	第 5 班	古家・大谷端宿赤東・開拓

消防団員の現況

消防団員配置状況

令和8年4月1日現在

階級別 団 別		団 長	副団長	本部員	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
館林消防団	団 本 部	1	3	4					8
	第1分団				1	1	2	12	16
	第2分団				1	1	2	13	17
	第3分団				1	1	2	14	18
	第4分団				1	1	2	19	23
	第5分団				1	1	2	15	19
	第6分団				1	2	3	26	32
	第7分団				1	1	2	20	24
	第8分団				1	1	2	18	22
	第9分団				1	1	2	19	23
	第10分団				1	1	2	20	24
	小 計	1	3	4	10	11	21	176	226
板倉消防団	団 本 部	1	2	1					4
	第1分団				1	1	2	16	20
	第2分団				1	1	2	16	20
	第3分団				1	1	2	16	20
	第4分団				1	1	2	14	18
	第5分団				1	1	2	16	20
	小 計	1	2	1	5	5	10	78	102
明和消防団	団 本 部	1	2						3
	第1分団				1	1	2	26	30
	第2分団				1	1	2	26	30
	第3分団				1	1	2	26	30
	小 計	1	2		3	3	6	78	93
千代田消防団	団 本 部	1	2					1	4
	第1分団				1	1	5	50	57
	第2分団				1	1	3	27	32
	小 計	1	2		2	2	8	78	93
邑楽消防団	団 本 部	1	2						3
	第1分団				1	1	3	31	36
	第2分団				1	1	4	30	36
	第3分団				1	1	5	39	46
	小 計	1	2		3	3	12	100	121
合 計		5	11	5	23	24	57	510	635



消防団員階級別年齢調

令和8年4月1日現在

階級別 団 別		21歳 未満	21歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55才 以上	合 計
館林消防団	団 長									1	1
	副 団 長							1	2		3
	分 団 長				1	4	1	6	2		14
	副 分 団 長				1	4	3	1	2		11
	班 長			1	4	6	4	5	1		20
	団 員	1	8	17	25	36	36	33	16	4	176
	小 計	1	8	18	31	50	44	46	23	5	225
板倉消防団	団 長								1		1
	副 団 長						1	1			2
	分 団 長						4	2			6
	副 分 団 長						3	2			5
	班 長					1	2	6	1		10
	団 員			1	12	11	35	19			78
	小 計			1	12	12	45	30	2		102
明和消防団	団 長									1	1
	副 団 長						2				2
	分 団 長				1	1				1	3
	副 分 団 長				1	2					3
	班 長				4		2				6
	団 員	1	1	8	18	16	18	11	5		78
	小 計	1	1	8	24	19	22	11	5	2	93
千代田消防団	団 長									1	1
	副 団 長								1	1	2
	分 団 長								2		2
	副 分 団 長					1			1		2
	班 長				2	3	2		1		8
	団 員		3	4	7	16	14	18	8	8	78
	小 計		3	4	9	20	16	18	13	10	93
邑楽消防団	団 長									1	1
	副 団 長								1	1	2
	分 団 長						2	1			3
	副 分 団 長							1	2		3
	班 長			1	2	5	1	2	1		12
	団 員		1	4	22	27	20	16	8	2	100
	小 計		1	5	24	32	23	20	12	4	121
合 計		2	13	36	100	133	150	125	55	21	635

消防団消防車両配置一覧表

車両総計：普通ポンプ車 33台・水槽付ポンプ車 10台・小型動力ポンプ積載車 9台・小型動力ポンプ 9台・団指令車 2台

館林消防団

令和8年4月1日現在

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ 性能	排気量	購入年月	備考
第1分団車	本町3丁目8-2	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H21. 3	
第2分団車	大街道1丁目13-38	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R4. 1	
第3分団車	朝日町1-34	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H24.11	
第4分団第1班車	当郷町1904	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4890cc	H14.11	
第4分団第2班車	大島町3984-1	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R5. 1	
第5分団第1班車	羽附町1693-2	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H29.12	
		小型動力ポンプ		B 2級		H29.12	
		普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H30. 9	
第5分団第2班車							
第6分団第1班車	緑町1丁目13-21	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R6. 7	
第6分団第2班車	堀工町1202-2	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4890cc	H16. 3	
第6分団第3班車	青柳町901-2	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H26. 2	
		小型動力ポンプ		B 2級		H26. 2	
第7分団第1班車	上三林町1507-1	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H23.11	
第7分団第2班車		小型動力ポンプ積載車		2990cc	H28. 2		
		小型動力ポンプ		B2級		H28. 2	
第8分団第1班車	成島町371	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4570cc	H11.12	水槽付 700ℓ
第8分団第2班車	高根町1060	小型動力ポンプ積載車			2950cc	H22. 1	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
		小型動力ポンプ		B 2級		H22. 1	
第9分団第1班車	木戸町320-4	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H29. 2	
		小型動力ポンプ		B 2級		H29. 2	
第9分団第2班車	日向町836	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R3. 1	
第10分団第1班車	足次町149	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R2. 1	
第10分団第2班車	下早川田町845-1	小型動力ポンプ積載車			2990cc	H27. 2	
		小型動力ポンプ		B 2級		H27. 2	
団本部	上赤生田町4050-1	指令車			2000cc	R2.11	館林署配置

合計：普通ポンプ車 11台・水槽付ポンプ車 1台・小型動力ポンプ積載車 6台・小型動力ポンプ 6台・団指令車 1台

板倉消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団車	岩田1880	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H25.12	
第2分団車	板倉1594	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R6. 7	水槽付 800ℓ
第3分団車	大高嶋1587-1	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H23.11	
第4分団車	朝日野1丁目3983	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	H22.10	
第5分団車	西岡331	普通ポンプ車	CD-I	A 2級	4000cc	R1.12	水槽付 700ℓ
団本部	板倉3427-5	小型動力ポンプ積載車			2500cc	R3.2	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
		小型動力ポンプ		C級		R3.2	

合計：普通ポンプ車 3台・水槽付ポンプ車 2台・小型動力ポンプ積載車 1台・小型動力ポンプ 1台

明和消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団第1班車	斗合田133-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.11	水槽付 700ℓ
第1分団第2班車	江口669	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.10	水槽付 700ℓ
第2分団第1班車	南大島322-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4770cc	H17.3	水槽付 700ℓ
第2分団第2班車	梅原558	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.11	水槽付 700ℓ
第3分団第1班車	大輪2070-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.11	水槽付 700ℓ
第3分団第2班車	矢島829-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.10	水槽付 700ℓ
団本部	南大島265-1	小型動力ポンプ積載車			2500cc	R7.2	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
		小型動力ポンプ		C級		R7.2	

合計：普通ポンプ車 0台・水槽付ポンプ車 6台・小型動力ポンプ積載車 1台・小型動力ポンプ 1台

千代田消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団第1班車	赤岩193-5	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第1分団第2班車	赤岩2471-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第1分団第3班車	福島579-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H26.11	
第1分団第4班車	舞木845-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第1分団第5班車	舞木51-14	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H26.11	
第2分団第1班車	上五箇240-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H26.11	
第2分団第2班車	下中森155-3	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第2分団第3班車	木崎534-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
団本部	萱野1218-1	小型動力ポンプ積載車			2500cc	R6.3	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
		小型動力ポンプ		C級		R6.3	

合計：普通ポンプ車 8台・水槽付ポンプ車 0台・小型動力ポンプ積載車 1台・小型動力ポンプ 1台

邑楽消防団

名称	所在	種別	車両型式	ポンプ性能	排気量	購入年月	備考
第1分団第1班車	新中野48-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第1分団第2班車	鶉250-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.11	
第1分団第3班車	中野2370-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	2990cc	R2.1	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
第2分団第1班車	藤川1544	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第2分団第2班車	藤川1118-3	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.10	
第2分団第3班車	秋妻529-3	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H30.9	
第2分団第4班車	石打1017-1	普通ポンプ車	CD-I	A2級	2990cc	H26.11	救助資機材搭載型 (消防庁貸与)
第3分団第1班車	篠塚2907	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H27.11	
第3分団第2班車	篠塚1099-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	R1.10	
第3分団第3班車	篠塚1420-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H28.11	
第3分団第4班車	狸塚377-2	普通ポンプ車	CD-I	A2級	4000cc	H29.11	
第3分団第5班車		普通ポンプ車	CD-I	A2級	4890cc	H14.10	水槽付 700ℓ
団本部	中野2647-1	司令車			1980cc	R5.3	邑楽署配置

合計：普通ポンプ車 11台・水槽付ポンプ車 1台・小型動力ポンプ積載車 0台・小型動力ポンプ 0台・団司令車 1台

消防団の勢力

令和 8 年 4 月 1 日現在

区 分 市町別	消防団員 1 人当たり			消防ポンプ 1 台当たり		
	人 口	世帯数	面積 km^2	人 口	世帯数	面積 km^2
館 林 市	324	156	0.27	4,049	1,955	3.39
板 倉 町	130	59	0.41	2,203	1,009	6.98
明 和 町	114	48	0.21	1,765	742	3.27
千 代 田 町	115	51	0.23	1,189	531	2.41
邑 楽 町	209	92	0.26	2,109	929	2.59

消防団員の出場状況

令和 7 年中

種 別 団 別	火 災		風水害等の災害		演 習 訓 練		特 別 警 戒		そ の 他		合 計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
館 林 消 防 団	22	508			20	522	12	81	12	60	66	1,171
板 倉 消 防 団	17	433			7	357	5	387			29	1,177
明 和 消 防 団	8	138			34	979	5	160			47	1,277
千 代 田 消 防 団	5	107			51	476	4	61	5	132	65	776
邑 楽 消 防 団	6	173	1	65	112	649	1	36	11	135	131	1,058
合 計	58	1,359	1	65	224	2,983	27	725	28	327	338	5,459

館林地区消防組合消防年報 (令和8年版)

発 行 令和8年9月

編 集 館林地区消防組合消防本部
総務課企画広報係

〒374-0015

群馬県館林市上赤生田町4050-1

TEL : 0276-72-8360

URL : <https://fire-tatebayashi.jp>

館林地区消防組合構成市町

「里沼の息づく次世代へ安心をつなぐ暮らしやすいまち 館林」館林市



『たてポン』

「地域で支え合う安全なまち いたくら」板倉町



『いたくらん』

「人と緑が輝く オールインワンのまち」明和町



『メイちゃん』

「共につくろう 人と自然が輝く 元気で活力あるまち ちよだ」千代田町



『みどりちゃん』

「幸せあふれる 住みよいまち “おうら”」邑楽町



『オーランドさん』